

創立百周年

記念誌

東村立有銘小中學校



明治34年頃の天銘尋常小学校（現有銘小学校）

創立百周年

記念誌

東村立有銘小中學校





## 校章の図案



◎ ペンと稲穂でふちどられ、中央に「有銘」の文字があります。

◎ ペンは学問に励み、世界に有為な人になることを表しています。

◎ 稲は五穀の稲、麦、粟、キビ、豆の一つで、豊かな実り「豊穰」を表しています。

※ 前述の意味も含めて「有銘の豊かな文化のかおりと豊かな生活を醸成する起点になること」を願いをこめてデザインされたものです。

この校章は昭和二十五年に、有銘校に勤務していた又吉慶典先生（慶佐次出身）によりデザインされたものです。



# 創立百周年記念行事



# 創立百周年記念事業





## 写真で見る校区の変遷（有銘区）



空から見た有銘区（撮影：平成7年6月）



有銘上空から見た東村（撮影：平成5年3月）



昭和40年代の有銘（写真提供：平良農勇）



米国写真家が撮影した昭和22年頃の有銘の段々畑の様子（撮影：ウィリアム E ジェスキンス）



昭和28年頃の福地集落 (写真提供：具志堅興徳)



昭和28年頃の石田集落 (写真提供：具志堅興徳)



昭和30年頃浜集落（手前）と照久（後方）（写真提供：平良農勇）



昭和40年頃の石田の集落（写真提供：翁長ナヘ）



浜集落（手前）・メーバタキ（後方） 昭和28年頃



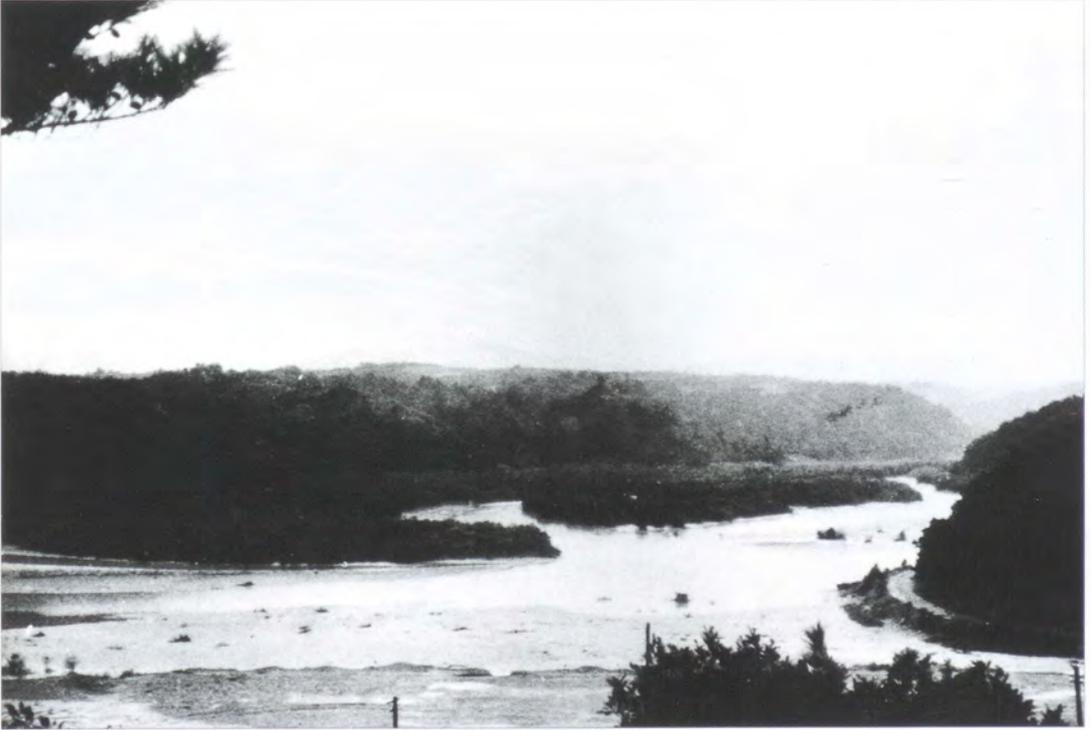
昭和30年頃の慶佐次（写真提供：山城定雄）



又吉慶典さんの自宅前 昭和40年頃  
（写真提供 島袋徳盛）



昭和40年頃のイチナンコウ



昭和30年代後半のヒルギ林 (写真提供：翁長ナヘ)



現在のヒルギ林 平成8年 (撮影：山城定雄)

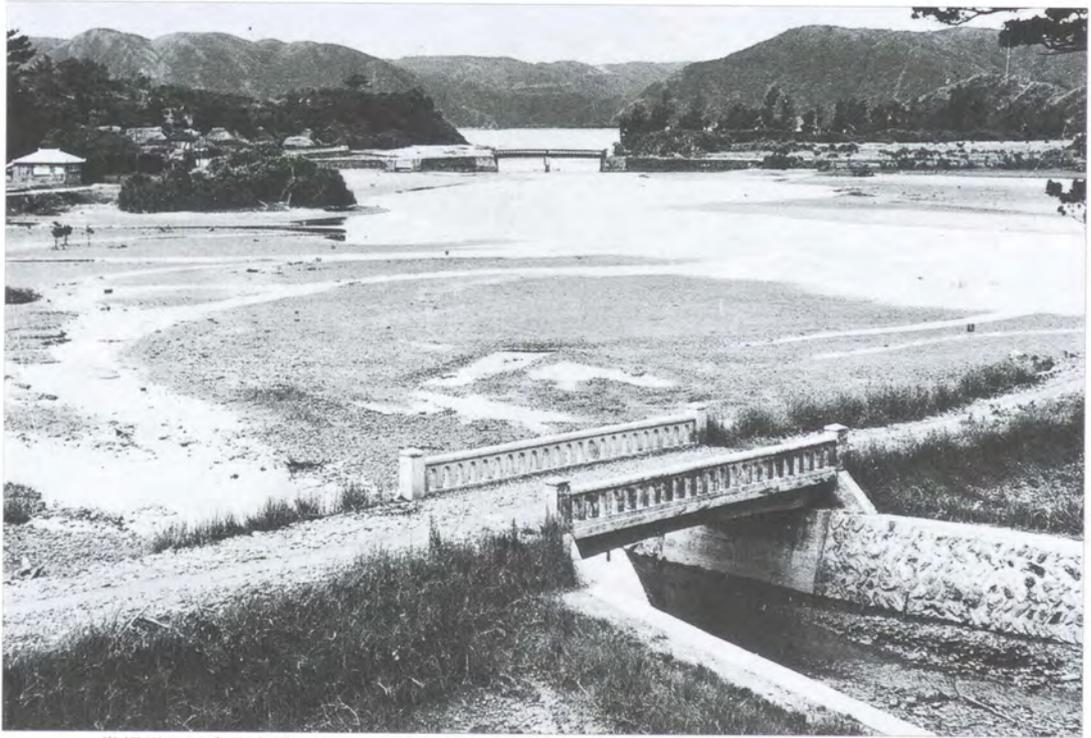
## 写真で見る校区の変遷（慶佐次区）



空から見た慶佐次区（撮影：平成7年6月）



昭和30年頃 今では珍しい着色カラー写真（写真提供：山城定雄）



世紀川より慶佐次橋 左手の白い瓦屋の建物が精米所 昭和30年代。(写真提供：新里義雄)



昭和50年代の写真 (昭和57年11月 撮影：山城定雄)

## 発刊のことば

有銘小学校創立百周年記念事業期成会

会長 島袋徳盛

有銘小学校は、一八九五年（明治二十八年）四月、天銘尋常小学校として創立されました。以来、明治、大正、昭和、そして平成と百年という尊い歴史を刻んでまいりました。この輝かしい記念すべき百周年の節目にあたり、創立百周年記念事業の一環として、記念誌を刊行することになりました。

本誌は、百年の歴史をただ単にその時代の出来事として残しておくだけでなく、本校の教育百年の歴史の流れに秘められた変遷を多方面から収録し、次の世代への遺産となるよう編集いたしました。諸々の都合で充分に意をつくせない面もありますが、このことは今後の課題と致しまして、本誌が多くの人々に末永く愛読され本校の発展に寄与されることを願っています。

この記念誌に寄稿して下さいました多くの方々や座談会参加の皆様、また貴重な写真や諸資料を提供下さいました皆様に対し心から感謝申し上げます。

結びに、本誌編集に日夜心魂を注いで下さいました記念誌編集部長の山城定雄氏をはじめ、編集部員の各位に対し衷心より感謝申し上げます。

# 有銘小学校創立百周年記念誌／目次

表紙 題字／山城利正  
各章巻頭写真／金城棟永

## 巻頭グラビア

発刊のことば 期成会長 島袋徳盛 …………… 一

## 第一章 創立百周年記念行事

一、創立百周年記念式典 …………… 七

(1) 祝賀パレード …………… 七

(2) 除幕式 …………… 一三

(3) 昭和十九学年度国民学校卒業式 …………… 一七

(4) 記念式典 …………… 二二

(5) 祝賀会 …………… 三七

(6) 式典準備スナップ …………… 四五

二、写真で綴る百周年記念事業 …………… 四七

(1) 百周年記念事業期成会結成総会 …………… 四七

(2) 百周年記念事業で整備された主な施設 …………… 四九

(3) プール開き …………… 五一

(4) 百周年新聞記事 …………… 五四

(5) 記念事業工事スナップ …………… 五五

(6) 百周年記念品等 …………… 五七

## 第二章 学校の歩み

一、学校の沿革 …………… 六三

二、歴代の教職員とPTA会長 …………… 一一三

(1) 歴代の学校長 …………… 一一三

(2) 歴代の教職員名簿 …………… 一二九

(3) 歴代のPTA会長 …………… 一三九

## 第三章 思い出のアルバム

一、懐かしき同窓生 …………… 一四五

二、我が母校の思い出 …………… 一六五

三、新聞記事に見る有銘小中学校 …………… 一八四

四、榮譽に輝く賞状 …………… 二〇〇

## 第四章 同窓生名簿

一、戦前の卒業生 …………… 二〇九

二、戦後の卒業生 …………… 二一九

## 第五章 児童・生徒の百周年記念作品

一、図画・版画 …………… 二四七

(1) 小学校の出品作品 …………… 二四七

(2) 中学校の出品作品 …………… 二五七

二、習字・書道 …………… 二六二

(1) 小学校の出品作品 …………… 二六二

(2) 中学校の出品作品 …………… 二六四

三、作文 …………… 二六六

(1) 小学校の部 …………… 二六六

(2) 中学校の部 …………… 二七三

## 第六章 我が母校の思い出

一、座談会 …………… 二八九

二、新里義雄先生、我が母校の思い出を語る …………… 三二〇

## 第七章 回想録

一、回想録 …………… 三三三

## 第八章 学校の概要

一、学校教育の目標	三七九
(1) 本校の教育目標	三七九
(2) 教育方針	三八〇
(3) 学校経営方針	三八〇
(4) 学校経営の努力点	三八〇
二、本年度の重点目標	三八一
(1) 学校裁量時間の運営方針	三八一
(2) 校務分掌組織図	三八三
(3) 日課表・週日課表	三八四
(4) 学校行事計画一覧表	三八五
三、各種指導計画	三八七
(1) 生徒指導計画	三八七
(2) 視聴覚教育	三九二
(3) 掲示教育の年間計画	三九二
(4) 庭園計画	三九四
(5) 学校図書館年間計画	三九五
(6) 学校放送の計画	三九六
(7) 学校保健年間計画	三九七
(8) 学校安全教育計画	四〇一
(9) 学校防災計画	四〇二
(10) 給食指導計画	四〇三
四、校内研修計画(平成七年度)	四〇四
五、部活動	四一二
六、PTAの活動	四一八

## 第九章 百周年記念事業の実施概要

一、期成会の概要と事業計画	四三三
(1) 有銘小学校創立百周年記念事業趣意書	四三三
(2) 有銘小学校創立百周年記念事業期成会会則	四三五
(3) 組織表	四三八
(4) 期成会役員名簿	四三九
(5) 有銘小学校記念事業準備委員会名簿	四四一
(6) 記念事業期成会予算の概要	四四二
二、百周年記念事業の概要	四四三
(1) 百周年記念業経過報告	四四三
(2) 百周年記念事業の内容	四四七
(3) 百周年記念事業期成会の決算	四四八
(4) 記念式典委員会の構成	四四八
三、百周年記念事業表彰者	四四九
四、寄付者御芳名	四五一
(1) 同窓生	四五一
(2) 教職員	四六五
(3) 団体・企業	四六九
(4) 個人・篤志家	四七一
<b>第十章 資料編</b>	
一、創立七十周年記念誌	四七五
二、一九五八年度学校アルバム	五二一
三、一九五九年度学校アルバム	五三〇
四、一九六〇年度学校アルバム	五四〇
編集後記	五五〇

# 有銘校校歌

松根盛秀 作詞  
渡久地政一 作曲



やまむら さきに うみあお く



ばんこに きよき ある めが わ



そうかに よする さざなみの



おとも ゆかしく ひびく なり

## 有銘校々歌

作詞 松根盛秀  
作曲 渡久地政一

一 山紫に海碧く  
万古に清き有銘川

足下に寄する漣の  
音もゆかしく響くなり

二 恵み豊けき天然の  
楽園に建つ有銘校

若き健康の血はたざり  
希望は踊る胸の中

三 げに東海は果しなき  
学びの道の象徴なり

正しく強く鍛練へつつ  
理想の岸に進まなむ

四 進みて止まぬ文明の  
時代の潮に乗りて起ち

誉あげなん我が母校  
築かんかなやユートピア

五 おごそかに照る朝日の子の  
光りに萌ゆる山の緑色

これぞ母校の姿なり  
栄え栄え有銘校

# 第一章



有銘の子供・腕白盛りの男の子。  
昭和35年（1960）2月14日（撮影：金城棟永）

# 創立百周年記念行事

# 一、創立百周年記念式典

## (1) 祝賀パレード

① 日時 平成七年七月二日(日) 午前九時～十時

② 参加者 児童・生徒、学校職員、PTA役員、期成会役員、  
区民、来賓

③ 場所 学校発

④ コース 学校→慶佐次→有銘→学校

⑤ プログラム

1) 整列

2) 出発式

(1) はじめのことは PTA副会長 具志堅 勇

(2) 校旗樹立 期成会三役、児童会正副会長、生徒会長

(3) 期成会長あいさつ 期成会長 島袋徳盛

(4) 児童会代表お礼のことは 児童会副会長 山城 梓

3) 行進

学校→照久→慶佐次橋→慶佐次売店→本部落→福地→石田→  
↓公民館→学校(パレード終演)

車 行進 車

⑥ パレードの形

先導車 バントワラズ マーチングバンド・鼓笛 校旗

学校長・PTA役員、同窓会役員、来賓 児童・生徒・職員 同窓会、郷友会 両区民



祝賀パレード

# 出 発 式











(2) 除幕式

① 日時 平成七年七月二日(日) 午前十時～十二時

② 場所 中庭

③ 参加者 児童生徒、学校職員、PTA役員、期成会役員、  
区有志、来賓(施工者)

④ 式順 司会 山城利正

1 開式のことば 元PTA会長 具志堅興徳

2 各碑の意義 教頭 宮城治是

3 テープカット(ファンファーレ、風船)

期成会長 島袋徳盛、教育長 伊佐常助

校長 比嘉清忠、PTA会長 平田嗣雄

児童会長 田場兼太、生徒会長 又吉朝絵

4 除幕(BGM アナウンス:久高美奈子)

・期成会碑

期成会長 島袋徳盛、期成会副会長 比嘉辰雄

児童会 神山 光、生徒会 奥間朝樹

・校歌碑

学校長 比嘉清忠、期成会副会長 上原朝明

児童会 渡口真吾、生徒会 宮里亜沙子

・校訓碑

PTA会長 平田嗣雄、PTA副会長 具志堅 勇

児童会 仲嶺若奈、生徒会 港川正樹

・沿革碑

教育長 伊佐常助、同窓会代表 福山朝秀

児童会 仲村修二、生徒会 田場純子

・タイムカプセル

式典委員長 渡口康秀、教頭 宮城治是

児童会 宮城秀人、生徒会 又吉朝絵

5 あいさつ

期成会長 島袋徳盛

6 あいさつ

学校長 比嘉清忠

7 あいさつ

児童会代表 石川有子

8 校歌斉唱

指揮 金城真子

伴奏 バンド

9 閉式のことば

元PTA会長 古堅盛和

# 記念碑除幕







(3) 昭和十九学年度 国民学校卒業式

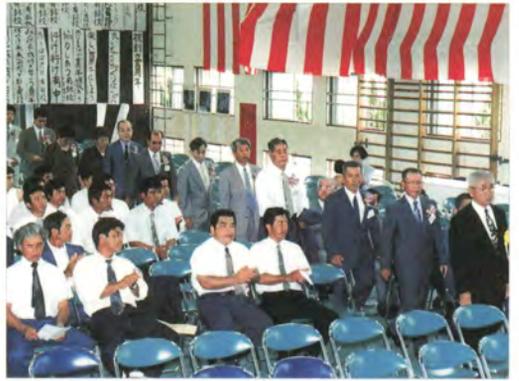
- ① 日時 平成七年七月二日(日) 午前十一時～十二時
- ② 参加者 卒業生とその関係者、児童・生徒、学校職員、PTA役員、期成会役員、来賓
- ③ 場所 体育館
- ④ 式順 司会 期成会副会長 比嘉辰雄

卒業生入場

- 1) 開式の言葉 教頭 宮城治是
- 2) 校歌斉唱 指揮 金城真子  
伴奏 又吉朝絵
- 3) 卒業認定並びに 卒業証書授与 学校長 比嘉清忠
- 4) 学校長式辞 学校長 比嘉清忠
- 5) 教育長告示 村教育長 伊佐常助
- 6) 卒業生代表挨拶 卒業生代表 仲松弥典
- 7) 卒業の歌(仰げば尊し) 指揮 久米史子  
伴奏 金城真子
- 8) 閉会の言葉 教頭 宮城治是

卒業生退場





第1章 創立百周年記念行事



□ 卒業生代表あいさつ

昭和十九年度有銘国民学校卒業生代表

仲松 弥典

五十年目の卒業式、あのいまわしい戦争さえなければ、私達は、昭和二十年三月、当時の有銘国民学校の第五十期生として卒業し、それぞれに別の人生を歩んでいるのではないかと思います。

五十年前を振り返りますと、昭和十九年の十月十日の米軍の空襲に始まり、昭和二十年の三学期に入ると、戦争は日に日に激しさを増し、有銘も度々空襲を受ける様になり、勉強どころではなくなりました。

学校では、上からの命令で、万が一に備えて、天皇・皇后両陛下の御真影を守るべく、大混帯の山奥に、カヤブキの避難小屋を作る為に、私達高学年全員が作業にかり出され汗を流したことが、中でも忘れられないのは、我が母校がB24爆撃機二機による焼夷弾攻撃を受けて燃上するのを私は泣きながら、照久の山の上から見ていました。校庭には樹令五十年と云う子供十人でもかかえ切れない様な大きなでいこの木が三本ありましたが、校舎と一緒

に燃えて枯れてしまいました。又、この度の百周年記念事業期成会の会長として、ご奮闘され

ました島袋徳盛先生は、昭和十四年県立第三中学校を卒業され、最初の赴任校として、この母校に着任されましたが、坊主頭で学生服姿と若々しくまるで兄貴の様な先生で、朝礼で校長先生から紹介された事等々、つい昨日の出来事の様には、はっきりと鮮明に覚えております。

この度は、母校の百周年に当たり、記念事業期成会並びに学校当局の方々が、戦後五十年たち、半世紀と云う永い年月を経ているにも拘わらず、忘れる事なく、覚えていて下さり、私達は五十年目の卒業式をプレゼントされると云う、夢のような話で、この粋な演出に胸を熱くしております。私達は今五十年前にタイムスリップして、十五才の少年少女の頃の童心に立ち返り、深い深い感動と大きな喜びにつつまれております。

私達第五十期生は在籍三十八名でした。戦争や病気等で八人が他界し、二人は南米、二人は本土に移住し、今二十六名が県内に住んでおります。せめて、県内在住の二十六名全員に出席してもらう様にと、島袋徳盛期成会長をはじめ、平良幸子先生、同期の稲福具行君と私も協力して、昨日まで何度となくコンタクトを取りましたが、多く人が体調不良を訴えており、代理人出席となっております。残念ながら本人出席は十名となりました。電話で話しますと、出席したいけども、体が云う事をきかないと云う人が多かった様に思います。不幸にして亡くなりました八人の学友のご冥福を祈りたいと思います。

今日戴きました卒業証書は、生涯の宝として、又、記念として自分の心の奥に大事に仕舞い込んで置きたいと思えます。



有銘小学校創立百周年記念事業の一環として、記念式典の前に、昭和二十年に卒業できなかった。私達の為に斯くも素晴らしい企画を実現して下さいました、記念事業期成会の島袋徳盛会長並びに比嘉清忠校長先生を始め、関係者の皆様方の、長期間にわたる、

ご苦労と温かいお心遣いに対し、卒業生一同になり代わり、深堪なる敬意を表しますと共に、衷心より重ね、重ね、お礼を申し上げます。

又、ご臨席の栄を賜り卒業式に、花を添えて下さいました、伊佐教育長をはじめ来賓の方々、関係者の方々、在校生の後輩の皆さん、さらにご父兄の皆様に対しまして、心から感謝とお礼を申し上げます。謝辞とい

たいします。  
良い思い出をあり

がとうございます。

昭和十九学年度有銘国民学校卒業生（昭和五年生）名簿

番号	氏名	住 所	備 考
一	島袋 義実	金武町伊芸二二二	
二	稲嶺 具行	東村字有銘二一	
三	平田 敏夫	東村字有銘八七四	
四	伊佐 常治	神奈川県横浜市中区希望ガ丘 二〇三二四八	
五	仲松 弥典	那覇市寄宮三二八二二	
六	石川 元康	那覇市首里石嶺町四一〇一六	
七	具志堅 興盛	具志川市字宮里九三三五	
八	神谷 厚明	那覇市首里山川町二六五二	
九	神谷 厚秀	那覇市壺屋二一六一〇	
一〇	伊良波 朝昭	ブラジル	
一一	石原 昌徳	那覇市大道九四一六	
一二	比嘉 正吉	那覇市山下町一七二五ローズマンション四〇一	
一三	具志堅 勇	名護市天仁屋七九一	
一四	新崎 康正	アルゼンチン	
一五	新垣 八重子	糸満市真壁六三三二二	旧姓・島袋
一六	仲嶺 トミ	東村字有銘五二八	旧姓・花城
一七	長嶺 昭子	東村字有銘五九一	旧姓・具志堅
一八	太田 キヨ	石川市石川三一七〇一六	旧姓・比嘉
一九	具志堅 キヨ	大宜味村字上江洲四四二	旧姓・饒波
二〇	崎山 梅子	東村字有銘二八二	旧姓・田場
二一	崎山 ヨシ子	沖縄市照屋四一一一七	旧姓・久高
二二	宮城 ヨシ子	名護市字辺野古市〇四六一	旧姓・比嘉
二三	金城 千代	東村字有銘三〇六	旧姓・比嘉
二四	新垣 ユキ子	那覇市古島三〇二	旧姓・翁長
二五	新垣 登代子	浦添市字勢理客二〇六	旧姓・新垣
二六	比嘉 峯子	浦添市字西原一三七三	旧姓・大兼久
二七	照屋 キヨ	名護市宮里一〇四五	旧姓・島袋
二八	影山 君子	福岡市城南区東油山六一五四一	旧姓・宮城
二九	宮城 シゲ	東村字慶佐次一三一	旧姓・新里
三〇	金城 勝子	宜野湾市真栄原二一三三二 A 五	旧姓・仲村渠

## 有銘小が創立100周年迎える

# 戦後50年目に卒業証書

### さらなる発展を誓う

五十年目の創立記念式。万感の思いで卒業証書を授け取った。



校区内をパレードする生徒たち。



校歌を奏ながら歌った1944年度の「有銘国民学校」の卒業生たち。前列、有銘小中学校。



【要】創立百周年を迎えた有銘小学校で二日、記念式典が催された。在校生も教職員、地域の住民などが出席、学校のさらなる発展を誓った。また、恒例で校舎が全壊し、昭和二十年三月に遷行できなかった有銘国民学校の昭和十九年度卒業式もあり、戦後五十年目にして卒業証書が授けられた。

## 記念碑の除幕も

記念行事は午前九時の祝賀パレードで開始。記念式典は午前九時、有銘小学校の校舎に於いて行われ、校長が卒業生代表として挨拶した。三十八人の同期生のうち、八人が他界。亡き友をしのびながら、卒業証書を手にした喜びをかみしめた。

卒業生を代表してあいさつに立った仲松典典さん（右）と那覇市在住の「五十年」という長八年月を経て、同校は明治二十八年（一八九五年）四月、天仁園に代わり、比嘉清忠・現校長が卒業生代表として挨拶した。三十八人の同期生のうち、八人が他界。亡き友をしのびながら、卒業証書を手にした喜びをかみしめた。

同校は明治二十八年（一八九五年）四月、天仁園に代わり、比嘉清忠・現校長が卒業生代表として挨拶した。三十八人の同期生のうち、八人が他界。亡き友をしのびながら、卒業証書を手にした喜びをかみしめた。

▲1995年（平成7年）7月5日 琉球新報

## あの戦争がなければ...

# 50年目に卒業証書

有銘小中学校百周年記念式典で

## 東村 有銘国民学校の19人

【要】五十年目に歌う曲やタイムカプセルを準備したが、卒業式をフレンジャーは断り、東村立有銘小、中、高、大、現職、来賓ら三百人、トシと述べた。卒業生は、卒業証書を受け取った。卒業式は、戦火で、卒業生を代表して仲松典典さんが挨拶した。三十八人の同期生のうち、八人が他界。亡き友をしのびながら、卒業証書を手にした喜びをかみしめた。

卒業生を代表してあいさつに立った仲松典典さん（右）と那覇市在住の「五十年」という長八年月を経て、同校は明治二十八年（一八九五年）四月、天仁園に代わり、比嘉清忠・現校長が卒業生代表として挨拶した。三十八人の同期生のうち、八人が他界。亡き友をしのびながら、卒業証書を手にした喜びをかみしめた。

▲1995年（平成7年）7月3日 沖縄タイムス

(4) 記念式典

①	日時	平成七年七月二日(日)	午後二時～三時三〇分
②	場所	体育館	
③	参加者	児童生徒、学校職員、PTA役員、期成会役員 区民、来賓、同窓生、受賞者、旧学校職員	
④	式順	司会 期成会総務部長 渡口康秀	
1	開式の言葉	期成会副会長 比嘉辰雄	
2	校歌斉唱	指揮 金城真子 伴奏 又吉朝絵	
3	経過報告	教頭 宮城治是	
4	式辞	学校長 比嘉清忠	
5	あいさつ	期成会長 島袋徳盛 生徒会長 又吉朝絵 児童会長 田場兼太	
6	感謝状贈呈	期成会長 島袋徳盛	
7	受賞者代表あいさつ	前学校長 與那嶺傳旭 県教育長 仲里長和	
8	来賓祝辞	東村長 宮城 茂 村教育長 伊佐常助 同窓生代表 福山朝秀	
9	祝電披露	司会	
10	謝辞	PTA会長 平田嗣雄	
11	閉会のことは	期成会副会長 上原朝明	

□ 学校長式辞



東村立有銘小学校校長 比嘉清忠

本日ここに、県教育長、国頭教育事務所所長をはじめ、村内外から多数の来賓、同窓生、PTA会役員、校区民の皆様のご臨席のもと本校創立百周年式典を盛大に挙行できますことは本校のこの上ない栄光であり、ご同慶の至りであります。職員・児童生徒一同に代り、心からお礼申し上げます。

本校は、明治二十八年四月に天銘尋常小学校として天仁屋、有銘、慶佐次部落を校区に創設されました。当初は、有銘部落事務所を教室として使用し、児童数約二十人、教員数一人の一学級開設の学校でございました。三年後には、現在の敷地に移転し、大正十二年には久志村から分離して東村となり、校名も有銘尋常高等小学校と改称されております。昭和十六年四月「国民学校令」施行により有銘国民学校となり、戦後昭和二十三年四月から新学制、六・三・三の実施により有銘初等学校、有銘中等学校として分離独立し、小・中併置校となって今日に至っております。

その間、明治、大正、昭和、平成とそれぞれの激動する社会情勢の中で幾多の苦難や試練を克服し百年に亘る輝かしい歴史と伝統を築き上げたのであります。特に、太平洋戦争は、沖縄全域で地上戦が展開され、本校区にも戦禍が広がり学校や校区部落もろとも一瞬にして灰燼に帰し、戦後の混乱期で諸先輩や校区民は教育愛をつらぬき学校再建に東奔西走され、その復興にこぎつけたことは偉大な教訓であり、本校教育推進の原動力となっております。



すことに深甚なる敬意を表しますとともに感謝に絶えないところ  
でございます。

本校は創立以来、多くの有為な人材を世に送り出し今や県内外  
を問わず、あらゆる分野で活躍していますことは誠に心強く本校  
の最も誇りとするものであります。

ところで、期成会による記念事業の主なものをご報告させてい  
ただきますと昭和三十一年、六十周年に校歌の制定、図書館建設、  
昭和四十一年、七十周年に校旗、放送施設、運動場整備、昭和五  
十一年、八十周年に体育館建設と同周辺緑化等、諸事業の達成が  
図られ本校教育の振興に寄与された功績は大なるものがあり県内  
外の同窓生や関係各位のご努力に厚く感謝する次第でございます。  
また、今度の創立百周年には、中庭の造園、運動場の植栽、  
記念碑の建立、タイムカプセル埋設、校旗の新調、飼育小屋の建  
設や進行中の記念誌の発刊、そして、村当局や村教育委員会の多  
額のご援助により校門やその周辺整備、校舎の塗装、プール建設  
等が立派に完成し理想的な教育環境を築き上げてくださいました。  
誠にありがとうございました。ここに、ご協力く  
ださいました村当局、村教育委員会、前校長与那嶺傳旭先生、期  
成会長島袋徳盛氏や顧問、役員の方々、同窓生、郷友会、PTA  
会員、校区民の皆様に対し衷心より厚くお礼申し上げます。

児童生徒の皆さん、二十一世紀は皆さんが活躍する世紀です。  
百年に亘る輝かしい歴史と素晴らしい校風を受け継ぎ、更に発展  
させるよう努力しましょう。そのためには、一人一人が記念碑に  
刻まれた校訓「正しく、強く」を学校生活の信条とし、学習やス  
ポーツに励み自己実現を図っていくことが大切であります。

私達学校職員は、創立百周年を契機に諸先輩の心意気を受け継  
ぎ「二十一世紀に生きる心豊かな、たくましい人間」の育成に全  
力を傾注する所存でございます。

今後とも温かいご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い  
申し上げます。式辞と致します。

平成七年七月二日

□ 期成会長のあいさつ

島 袋 徳 盛



本日、有銘小学校創立百周年記念式典を挙げるにあたり、県教育長をはじめ、国頭教育事務所所長、東村長、村議会議長、村教育長、来賓多数のご臨席の下、同窓生、郷友会、PTAを母体とする記念事業期成会関係者、校区民各位をお迎えし、かくも盛大に記念式典を行う事ができますことは、期成会長としてこの上もない光栄に存じ、百周年という節目の年に生を受けたことを幸せに思い誠に喜びにたえません。

本校は一八九五年（明治二十八年）四月創立以来、明治、大正、昭和、平成と時は流れ、世は移り変わって来ましたが、変わりない四方の山々や和やかな有銘の浦々を前庭とし、清く流れる有銘川に身を清め、たくましく、おらかな有銘校区民の育成に貢献して参りました。

しかしながら去る大東亜戦争では戦災によって校舎が全焼し、終戦後はそれこそ無からの出発でありました。その灰燼の中から、歴代校長並びに学校職員地域の人々の献身的なご協力によって、見事に起き上がり、戦後の激動の時代を忍耐強く乗り切って参りました。

時とともに教育環境が整備され、教育内容も充実し、輝かしい伝統と校風を發展させ、今日の隆盛を見るにいたしました。

思えば誠に感無量なるものがあります。本校の意義ある百周年を迎えるにあたり、時代を担う子どもたちが強く正しく伸びていく環境づくりに寄与するため、一九九二年（平成四年）六月に百周年記念事業期成会を結成し、事業推進に精出して参りました。

記念事業として村ご当局予算によるプールの建設、校門の改修、校舎の塗装を行い、期成会としては校庭の美化、記念碑、校歌碑、沿革碑、運動場の植栽、校旗の新調、飼育小屋設置、そして百年の歴史の集大成としての記念誌の発行を計画し、その遂行に励み、すべての分野を完成することができました。これらの施設設備は未来に向かって翔く子どもたちにとって、大きく寄与するものと期待し、また、学校が未来永劫にわたって、益々發展していく原動力になるものだと堅く信じています。

記念事業を推進するにあたって、きびしい経済状況下でありながら、村ご当局の特別なご配慮と、同窓生、PTA、郷友会、地域の方々、さらに各企業団体の深いご理解とご協力をいただきここに所期の目的を達成することができました。皆様の温かいお力添えに対し、衷心より感謝申し上げます。

今後、本校教育が百年を節目として名実とともに充実し、さらに将来に向かって限らない發展を遂げ、輝かしい伝統と校風が明日の世代に引き継がれるよう、皆様方の尚一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます、ごあいさつといたします。

平成七年七月二日



学校を囲む山々の木々が深い青を繁らせ、活力ある季節となりました。私たちは今、一世紀を歩んできた有銘小学校の記念式典に参加することができ、この上ない感動をかみしめています。

この小さな地域に学校をつくらなければならないと考えた村の人々は、きつと学問の大切さと、世界にはばたく人材を育てることの必要を感じたのだと思います。その心が強く村の人々に受けつがれ、今日の目を迎えることができたと思います。

百年前のスタートから、長い歴史の流れによって学校は姿形を大きく変化させてきました。その中でも最も苦難の道は、戦争という悲惨な時代だったと思います。着る服、食物も十分に手に入らなかった時代に、全校舎は焼け落ちましたが、村の人々の力強い心に支えられて、見事に復興したのです。

有銘校を巣立ってゆかれた同窓生の母校への思いは、決して変わることはない熱いものであると思います。母校はいつもすべての同窓生の心の古里として育ってきました。私は戦争に負けなかった学校の力強さと、この有銘校で学ぶことが出来たことを誇りにしていきたいと思っています。有銘中学校はこれまで、部活動の陸上、特に棒高跳びがさかんで、名を知られるようになりました。現在では、陸上とバスケット部を交互に取り組み、先生方と地域の人々のもとで毎日、いい汗を流しています。

平成四年、五年度には文部省の指定を受け、勤労生産学習にも力を入れてきました。くわを持ち土を耕すことから始まり、野菜の収穫まで実に色々な体験をすることができました。ジャガイモをほりおこした時の喜びは、今までに味わったことのない豊かな気持ちになりました。

今、児童会、生徒会では、「オアシス運動」を盛んにしようを目標に掲げています。委員会を中心に毎日のあいさつの取り組みをし、気持ちの良いあいさつが交わされるようになりつつあります。

終わりに百周年を機に「花の心を伝えて、団結心を深める新生有銘中」というテーマのもと、私達は今までの伝統を守り、新しい校風を創るために一層頑張っていきたいと思っています。



今日は、ぼくたち有銘小学校の創立百周年を祝うことができ大変うれしいです。

百周年と一口で言っても、この長い年月の間には、先輩方や地域の方々の数多くの苦労や努力があったと思います。いろいろな苦難や困難をのりこえて、一日一日を大切にしながら歴史を積みあげ、今のようになりつばな有銘小学校が築きあげられたと思います。

有銘小学校は、明治二十八年に天銘尋常小学校としてつくられました。その当時は、児童数約二十人、先生一人の小さな学校でした。

この百年の間には、たくさんの方の卒業生を送り出しています。ぼくの祖父母や両親も、この学校の卒業生です。

ぼくは、祖母から昔の学校の様子を聞きました。

教室は、かやぶき校舎で、雨が降ると、雨もりがして、教室のかたすみへ寄って勉強をしたそうです。五十年前の戦争では、校舎が焼きはらわれたそうですが、二か月後には、仮校舎がつけられ、授業が再開されたそうです。

服装には、着物をきて、ほとんどの人がはだしで学校に通っていたそうです。当時は、今のような丈夫なカバンがなく、ふろしきなどに包んだり、自分でカバンをぬったりしていたそうです。学用品は、教科書もノートもあったそうですが、ノートは、一度使い終わっても、またくり返し使って、黒くなるまで使ったそうです。えんぴつも、小さくなると竹をくつつけて、キャップのようにして使っていたそうです。

今、ぼくたちは、コンクリートの立派な校舎で勉強をすることができ、また、必要な学習用具を容易に整えることもでき、すばらしい環境の中で楽しい学校生活を送っています。

そして、今年は、百周年を記念して中庭やプールが創られ、さらにすばらしい環境になりました。

ここまで学校を立派に築きあげてくださった先輩方や地域の方々、美しい学校づくりに協力してくださったみなさんに、心から感謝します。

ぼくたちは、先輩方が築きあげた輝かしい歴史と伝統を受けつぎ、ほこりと自信を持って、すばらしい校風づくりにはげんでいきます。

そして、有銘小学校の発展のためがんばっていききたいと思っています。



本日、ここに有銘小学校創立百周年記念式典を開催するに当たり、一言ご挨拶申し上げます。くしくも戦後五十年という節目に、有銘小学校創立百周年の輝かしい記念祝賀の式典が開催されますことは、同窓生としてこの上もない喜びであり、満腔の祝意を表する次第でございます。私事ながら、静かに当時を振り返ってみます時、五十余年前の小学校の頃が走馬燈のように思い出されてきます。ウガン山に背にした東西に伸びる校舎は、校長住宅まで一棟になった赤瓦屋根の木造校舎でした。校庭には直径三米位の四本の大きなでいごの木が天高く聳え、毎年新学期の頃には、でいごの花で運動場一面が真っ赤に染められたものです。学校の前を流れる有銘川は私たちの絶好の水泳場であり、エビ取りや魚釣りのできる楽しい遊び場でもありました。残念ながら、今は当時の面影は全く消えてしまっています。

思えばわが母校は明治二十八年、天銘尋常小学校として誕生し、明治・大正・昭和・平成と、時代と共に姿を変え、特に太平洋戦争によって、校舎は全焼し、校庭のでいごも火にあぶられ二本が枯れてしまい、その後更に特大の台風によって引き裂かれ、衰弱し、四本のでいごはすべてなくなってしまうました。戦後のテント教室からかやぶき校舎へと、幾多の試練と変遷を経て、またいろいろな困難を克服し、荒廃と貧困の中から立ち上がり、今日の隆盛をみるに至ったものは、歴代校長先生をはじめ諸先生方やPTA並びに区民総ぐるみの献身的なご苦労とご努力があったことを忘れてはいけません。

また、現在においては、在校生の皆さんが、スポーツや各教科においても素晴らしい成績をあげ、加えて教育研究会や環境美化等でも、比嘉清忠校長先生を中心に学校とPTA、地域社会が一体となって、りっぱな校風づくりに邁進されておられます。皆様の教育に対する情熱とたゆまぬご精進に対し、あらためて、深甚なる敬意と感謝の意を表するものであります。

本日の創立百周年の記念すべき式典を節目に、先輩方が築いてこられた歴史と伝統を踏まえ、更に新たな展望で「明るく、たくましく、自ら学ぶ」という教育目標の下に、本校に学ぶ児童生徒が、より一層高い目標に向かって邁進され、大成するよう大きく期待するものでございます。

最後に、意義深い創立百周年を迎えるに当たり、記念事業期成会の島袋徳盛会長はじめ、役員並びに関係者の皆様の取り組みとご努力に対し、衷心より感謝を申し上げます。有銘小中学校の今後の限りないご発展を祈念申し上げ、お祝いのご挨拶と致します。

□ 教育長祝辞

仲里長和



本日、ここに東村立有銘小学校が創立百周年を迎え、盛大に記念式典が挙行されますことは、この上ない喜びであり、心からお祝い申し上げます。

さて、有銘小中学校は、明治二十八年に天銘尋常小学校として創立されました。以来、百年の間には、学制改革による校名変更や、去る沖繩戦による校舎焼失等、幾多の困難に遭遇したのではありませんが、校区の方々の教育に寄せる熱い思いで、それらの困難を克服し、今日の充実した学校を創り上げていただきました。ここに、東村当局、村教育委員会ははじめ、歴代の校長、職員並びに校区の皆様は深甚なる敬意と感謝の意を表します。

有銘小中学校は、緑深い山々のふところに抱かれた「つつじの里」、慶佐次川の河口には国指定天然記念物である沖繩本島最大の「ヒルギの群落」など豊かな自然と教育熱の高い父母や地域の人々に恵まれた教育環境にあります。この教育環境を生かした教育の営みは、県内外の各界で活躍する多くの人材を世に送り出しています。

また、近年の児童生徒の活躍もめざましく、昭和六十一年と六十二年の沖繩県科学作品展においては、県知事賞を連続受賞し、平成六年の第七回沖繩県小学生ハンドボール大会では、女子の部で優勝するなど、文化、スポーツの両面で輝かしい実績があると伺っております。さらに、本校は、平成二年度には県環境保健部指定の「環境教育モデル研究校」、平成四年度には文部省及び村教育委員会指定の「勤労生産学習研究指定校」として研究を継続し、その研究成果は、県内外から高い評価を受けております。

在校生の皆さんは、百周年という節目に、このすばらしい先輩方の伝統を受継ぎ、自分の可能性を信じ、しっかりと自分の道を歩んでいただきたいと思えます。一人一人が、目標をもって学習やスポーツに頑張ることが自分の成長になり学校の発展にもつながっていくと考えます。

県教育委員会においても、二十一世紀を見据えて、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応し、国及び郷土の自然と文化に誇りを持ち創造性、国際性に富む人材の育成を目指して、幅広い教育施策を推進しているところであります。有銘小中学校が、栄光に満ちた百年の伝統を基盤とし、さらに二十一世紀に向けた教育計画を立て、地域と一体となって教育実践に御尽力されますことを御期待申し上げます。

終わりに、百周年の節目に当たり、諸記念事業を挙行され、めでたく記念式典・祝賀会を挙行されました記念事業期成会、学校をはじめ東村並びに同窓生、関係者各位の御努力に敬意を表しますとともに、有銘小中学校の限らない御発展を祈念し、お祝いのことばとします。

平成七年七月二日



戦後五十周年の節目の年に東村立有銘小学校が創立百周年をむかえ、本日ここに記念式典が挙行されるに当たり、御臨席の皆様と共に心からお祝い申し上げます。

本校は明治二十八年四月に、天銘尋常小学校として教員一人、児童数約二十人で開校し、明治三十年に現在の場所に移転しました。大正十二年四月には久志村より分村し東村が誕生し有銘尋常高等小学校と改称されました。その後、教育制度の変遷とともに幾度か校名が改称され、昭和二十七年四月に有銘小学校となり現在に至っております。

本校は創立以来一世紀にわたって、地域の人間形成の殿堂として、地域の初等教育の振興発展に重要な役割を果たしてまいりました。今日まで幾多の優れた人材を社会に送り出し、各界においてめざましい活躍をしておられることは誠に喜びにたえない次第であります。

本校の沿革をたどってみますと明治、大正、昭和、平成と続いたこの百年は、忘れ得ぬ世界大戦や経済恐慌など起き、我が国はもとより、世界にとってもまさしく激動の一世紀でありました。とくに、今次大戦においては私達の先輩が営々として築きあげてきました校舎をはじめ学校の施設の全てを失い、本校の歴史のうえで最大のいたでをこうむったのであります。先生方やPTAをはじめ地域の方々や廃墟の中から郷土復興に燃え涙ぐましい努力によって再建されました。子供たちもこれに応えて、学習面、スポーツ面等の学校内外の活動で活躍をされ多くの表彰を受ける等素晴らしい有銘小学校を築いてくれました。

これも偏に、歴代の校長先生をはじめ諸先生方の教育に対する情熱と、本校発展のために御支援下さった父兄や地域の方々の理解と協力の賜物であり、衷心より深く敬意を表します。百周年の意義ある節目を契機として、本校の児童生徒が大きな夢と希望をもって二十一世紀へ飛躍できるように関係各位が尚一層ご尽力くださるようご期待申し上げます。

また、多くの先輩方の汗と英知により築いてこられた輝かしい伝統を後輩が受け継いでさらに発展させてくれるものと信じています。

終わりに、本校の児童生徒が「自ら学ぶ子・たくましい子・明るい子」の教育目標と小中併置校の特性をいかして、活力ある教育活動が展開され、有銘小中学校がますます飛躍発展していきますよう祈念してお祝いいたします。

□ 東村教育長祝辞

伊佐常助



東村立有銘小学校の創立百周年記念式典を挙行するにあたり、お祝い申し上げます。本校は、明治二十八年四月に天路尋常小学校として、有銘区事務所を教室に設立されました。以来百年の歳月が経ち、明治中期から今日まで、四時代の幾多の社会の変遷制度の改変、戦時や戦後の貧困、著しい経済発展と激しい時代の流れの百年を、学校関係者や、PTA、地域の人々は、その時代、時代を力強く本校を支えながら教育活動を展開し、本村はもとより県内外の各界へ数多くの人材を送り出して参りましたが、このことは、歴代校長先生を始め教職員並びに関係各位のご尽力の賜もので衷心より敬意を表する次第であります。

復帰二十年余、教育委員会は、教育諸条件を本土並に引き上げるために鋭意努力して参りましたが、このたび、百周年を迎えるにあたり、教育委員会も記念事業としてプールの建設、校舎の塗装、校門の改修をおこない、また、期成会の並々ならぬ努力と、多くの方々のご芳志により各種記念碑の建立、校庭の整備がなされ、新しい時代にふさわしく、装いも新たに立派な学校に変わりました。

この一大事業をなしたげた期成会長をはじめ役員、PTA、同窓生、区民、県内外の多くの方々の御理解と御協力に対し、深甚なる敬意と感謝を表します。

時代の進展に伴い若者の都市志向により、本校は、過疎化の波に流され、復式学級を余技なくされる等の厳しいへき地教育のハンディを克服し、「教育にへき地は造らない」を合言葉に歴代校長先生並びに教職員各位の不断のご精励とそれに応える児童のためまざる努力により学習、文化、スポーツ面で輝かしい実績を上げてきました。

また、へき地教育の振興を図るため昭和五十五年度へき地教育研究校の指定を受け、「自主的研究態度の育成」をテーマに先生方が労苦をおしむことなく研究活動を展開し、その成果を二六回九州地区へき地研究大会で発表するなどへき地教育にたずさわっている先生方に深い感銘を与え高い評価をうけました。また、この陰にはPTA、関係各位の献身的なご努力とご協力を我々は忘れてはなりません。

有銘小学校が百周年を機に、「平和で活力に満ち、潤いのある東村」の担い手である純真な子どもたちを正しく育て、二十一世紀の舞台で世界の人々と助け合い、ともに考え、平和を創造するしつかりした人間づくりの場に、有銘小学校がますます発展しますことを祈念しつつ、創立百周年の歩みに心から拍手を送り、お祝いの言葉と致します。

平成七年七月二日

玉城勝郎



本日ここに東村立有銘小学校の創立百周年記念式典を盛大に挙行されるに当たり、お祝いの言葉を申し上げます。

輝かしい歴史をもつ御校は、明治二十八年四月に天銘尋常小学校として、山紫水明の地、有銘区に創立されました。以来、教育愛や郷土愛に満ちた有銘校区の方々は、教育の重要性を深く認識され、関係機関と一体となって公教育推進に努めてこられました。

百年の長い歴史の中で、校名の改称や校地の移転、校舎の建設等の幾多の変遷を経ながら、よき伝統を築き、すばらしい校風を創り上げられました。その間、環境教育モデル研究校や文部省・村教育委員会指定の「勤労生産学習」の研究校として、師弟の教育の充実に尽くされ、多大な成果を上げられました。さらに学研教育賞や教育版画の学校賞、科学作品展における県知事賞などを、数多く見事に受賞されました。それらのことと重ねて、御校で学んだ有為な人材が県内外の各界において活躍されていることをみると、御校教育の偉大さにあらためて敬服致します。これまで御校の教育に精魂こめて携わってこられた歴代校長をはじめ、教職員、父母、地域の方々並びに関係各位に心より敬意を表します。

さて、二十一世紀を志向した今日の社会が、情報化社会としてすでに歩み出している折、学校教育においては、激しい社会の変化に主体的に対応して生きていくことができる心豊かな児童生徒を育成することが何より重要であります。

このようなときに、百周年の節目を祝い、夢と希望ともち二十一世紀へ大きく羽ばたく児童生徒が心身ともにたくましく、心豊かな人間として成長することを願うのは意義深いものがあります。百周年記念誌の発行や教育の場にふさわしい環境整備などの遂行は、御校のさらなる飛躍発展の礎になることを確信致します。

有銘小中学校のみなさんは、恵み豊かな自然の中で、勉強やスポーツに精一杯励むことができ、幸せものです。百年の深い歴史をもつ本校に誇りをもち、諸先輩の築いてこられた伝統と実績に学びつつ、自ら学ぼうとする積極的な学習意欲や思いやりの心をもちたくましくねばり強くがんばってほしいと思います。

終わりに、百周年の大きな事業にご尽力いただいた期成会の皆様をはじめ、関係各位に心から感謝申し上げます。児童生徒のすこやかな成長と御校の一層の発展を祈り、お祝いの言葉と致します。

平成七年七月二日

□ P T A 会長あいさつ

平田 嗣雄



有銘小学校創立百周年おめでとうございます。  
皆様方と共にお慶び申し上げます。

創立百周年の記念式典にあたり、沖縄県教育長はじめ、東村長、村議会議長、村教育長、並びにご来賓の皆様、さらに多くの同窓生、区民の方々のご臨席を賜り盛大に記念式典をあげることができました。P T A を代表として厚く御礼申し上げますとともに、会員とともに慶びにたえませ

ん。  
さて百年の歳月を経て、今日では、数多く卒業され、それぞれの地域や職場等でご活躍なされております。本校創立百周年という節目を迎えるにあたり、平成四年六月二十七日に百周年記念事業期成会を結成しました。私どもは、記念事業の推進と目的達成を誓い合いこれまで頑張ってきました。

百周年の記念事業を推進してこられた期成会役員の方々をはじめ、母校をこよなく愛する同窓生の皆様、区民並びに県内外の多くの有志、企業の方々のご理解とご協力により、記念事業も当初の目標を大幅に上まわる事業を達成することができました。

皆様方のご支援により、本校の教育環境が一段と整備され、本校で学ぶ児童、生徒並びにP T A にとってこの上ない喜びで一杯であります。皆様方の善意に満ちたご支援、ご協力に対して深く感謝申し上げます。

私ども、P T A も本校職員と一体となり、児童、生徒のすこやかな成長が図れるよう全力をあげてまいります。

今後とも、尚一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様方のご健康と有銘小中学校が、益々発展することを祈念し、簡単ではありますがP T A 会長の挨拶といたします。

平成七年七月二日



僭越ではございますが受賞者の皆様に代わりまして一言ご挨拶を申し上げます。

本日は有銘小学校創立百周年式典を迎え、この栄ある記念式典で百年の重みを感じる感謝状をいただき、身に余る榮譽と存じ厚く御礼を申し上げますと共に有銘小学校百歳の誕生日を心からお祝い申し上げます。

感謝状をうけた私たちは、それぞれの立場でそれぞれ異なった内容のものを提供したのですが、受賞者の心には共通した思いがあります。それは学校で学ぶ子らが、よりすぐれた環境のもとで、健やかに成長してほしいと願っていることです。

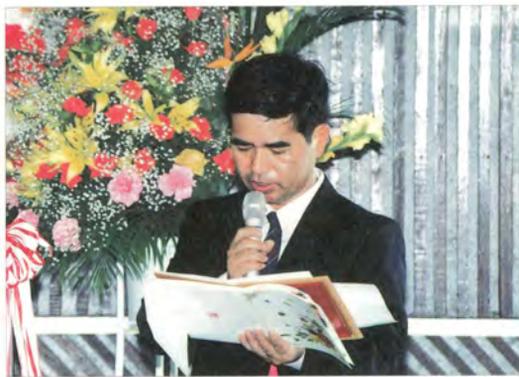
記念事業に企画した者の一人として、百周年の記念事業の付帯事業としてプールの設置や運動場整備を企画した処、県教育庁はじめ、村当局のご援助によりまして、近代적立派な物ができあがりました。この場を借りて関係各位に厚く御礼申し上げます。

ここ有銘小学校は、豊かな自然に恵まれ県道十四号、源河線が開通され交通も便利になりましたが、創立以来明治、大正、昭和、平成へと各時代の激しい変遷の中で幾多の困難を克服され、すばらしい伝統と校風を築きあげ、多くの卒業生を世に送り出し、社会のあらゆる分野で活躍する有為な人材育成に貢献してきました。

最後に有銘小学校の益々の御発展を祈念し、百周年記念事業期成会員、PTA、同窓生、地域の多くの関係者のご苦勞に感謝し、本校に学ぶ、子供たちの健やかな成長を祈り、皆様のご多幸をお祈り致しまして、甚だ粗辞でございますが受賞者一同に代わりまして、御礼の言葉と致します。

誠にありがとうございます。

平成七年七月二日





(5) 祝賀会

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	④	③	②	①	
閉会のことば	万歳三唱	余興	余興	余興	余興	余興	お祝いのことば	余興	余興	お祝いのことば	余興	余興	お祝いの言葉	余興	余興	お祝いのことば並びに乾杯	かぎやで風	幕開き(三味線演奏)	開会のことば	式順	司会	参加者	場所	日時
期成会副会長 上原朝明	期成会会長、校長、PTA会長						慶佐次郷友会代表 島袋 護	中学生	小学生	有銘区郷友会代表 伊佐常位	中学生	小学生	国頭教育事務所長 玉城勝郎	幼稚園 中学生	幼稚園 中学生	東村議会議長 伊集盛久	中学生	郷友会	期成会顧問 又吉慶典	期成会財政部長 当山全伸	学校職員、園児、児童、生徒、郷友会	期成会役員、PTA役員、同窓生、区民、来賓	体育館	平成七年七月二日(日) 午前四時～六時三十分



















(6) 式典準備スナップ





二、写真で綴る百周年記念事業  
(1) 百周年記念事業期成会結成総会





80人余が出席した結成総会（平成4年6月27日 本校体育館）



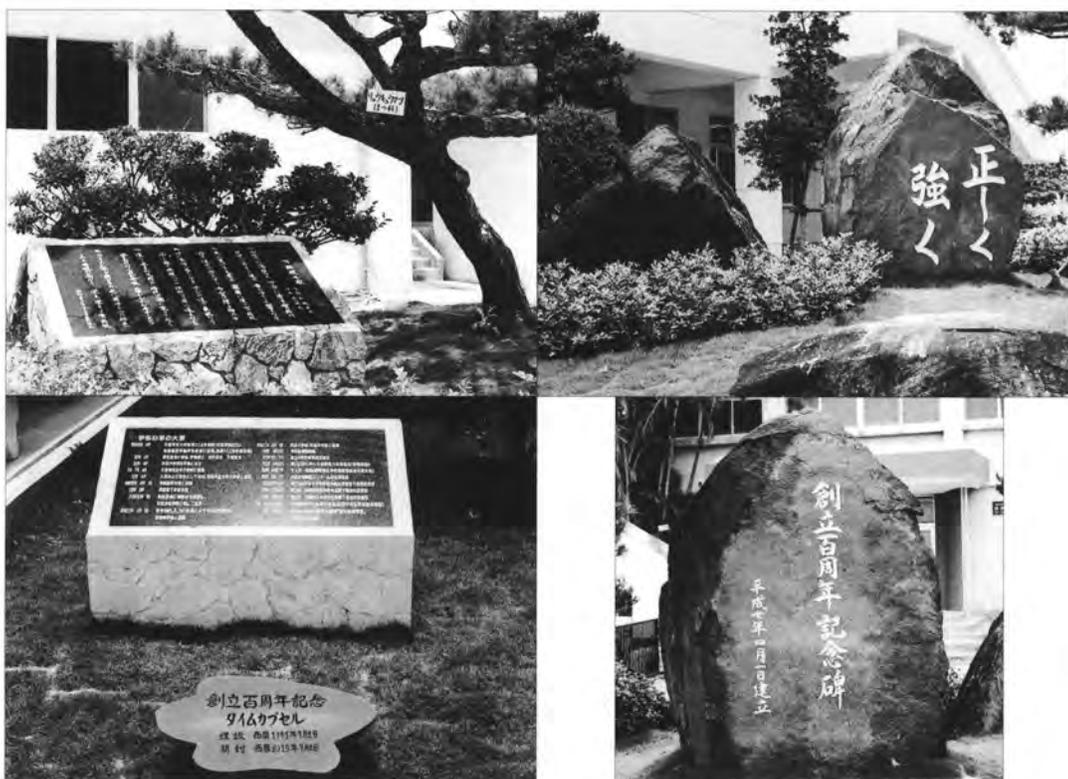
(2) 百周年記念事業で整備された主な施設



記念事業で整備された校門と全面塗装された校舎



記念事業で整備された学校プール



校歌碑（左上）、沿革碑（左下）校訓碑（右上）



記念事業で整備された記念庭園

(3) プール開き

式典式次第

一日 時 平成七年六月九日(金) 午後二時三十分～四時

二場 所 有銘小中学校プール

三 式典順序

- (1) 開会の言葉 ..... 教頭 宮城 治 是
- (2) 宮司によるプール清め
- (3) テープカット
- (4) 学校長あいさつ ..... 校長 比嘉 清 忠
- (5) 祝 辞 ..... 村長・教育長・PTA会長
- (6) 児童会長あいさつ ..... 田 場 兼 太
- (7) 生徒会長あいさつ ..... 又 吉 朝 絵
- (8) 準備運動↓初泳ぎ .....
- (9) 閉式の言葉 ..... 教頭 宮 城 治 是





## まちにまったプール開き

有銘小児童会長 田場 兼太



今日は、ぼくたち有銘校のみんなが楽しみに待っていたプール開きの日です。

去年までは、慶佐次のウッパマで、一年に一回水泳教室をひらいていました。

その中では、学年たいこのきょうそうもありました。

ほかの学校では、ない自然の中で授業をしていたのでとても楽しかったです。

でも今年からは去年までとちがって、プールも体育の授業にはいり六月から七月にかけて、約十時間も水泳ができるのでとてもうれしいです。

プールに学習をするときは、自分のめあてをもつことが大切です。

水がこわい人は、顔をつけることから、泳げる人は、1mでも記録をのばすというめあてをもってがんばってほしいです。

去年までとちがって十時間も学習できるのです。

しかし、ちよつとふざけると大きな事故にもつながります。

ですから学習は、ぜったいにふざけてはいけません。

プールサイドをはしると、危けんだし、とびこむのもきけんです。

先生の話をしつかり聞いて、約束を守ることが大切です。

正しく使えばとても楽しい学習ができます。学校創立百周年を記念してできたプール。つくってくださった方々に感謝しみんなでいしましょう。

そして、一人ひとりが、がんばる気持ちをもってプールを大切に使うように心がけていきましょう。

六月九日



(5) 記念事業工事スナップ



記念庭園の工事  
平成6年9月（撮影：山城定雄）





↑施工前



校門の改修

←施工後

プール建設工事



工事名 池田中学校プール建設工事  
 二層階 プール1号  
 現場監督 佐藤 隆  
 1層目  
 不図板貼付完了  
 産出状況



工事名 池田中学校プール建設工事  
 二層階 プール1号  
 現場監督 佐藤 隆  
 コーキング  
 状況  
 平成21年11月20日



# 祝

## 有銘小学校創立100周年

記念式典  
祝賀会 のしおり

創 立 明治28年(1895年)4月1日  
百周年記念式典 平成7年(1995年)7月2日



東村立 有銘小中学校

〒905-12

沖縄県東村字有銘1番地

電話(0980)43-2061

平成7年7月25日(火)第31号

KOHO HIGASHI. PUBLIC INFORMATION



村章

# 広報 ひがし

編集・発行

発行：東村役場  
編集：企画課広報係  
〒905-12  
東村字平良488番地  
☎ 0980-43-2201  
FAX 0980-43-2457



## 有銘小学校創立100周年迎える

—さらなる発展を誓う—

# 第二章



学校裏にあったガジュマル。昭和35年（1960）  
2月14日（撮影：金城棟永）

# 学校の歩み

## 一、学校の沿革

明治28年4月

(一八九五)

天銘尋常小学校創立。児童数約二十人。四年制度、当時教育に対する理解が深くなく、進んで入学する者少なかった。有銘区事務所を教室に使用。教員一人(安谷屋音蔵先生)

明治30年4月

(一八九七)

現在の敷地へ移転。学級数二学級。職員一人。初代校長 玉城定英氏。

明治38年4月

(一九〇五)

天銘尋常小学校六年制となる。

明治41年4月

(一九〇八)

義務教育四ケ年を六ケ年に延長し、高等科二ケ年となる。尋常科四年卒業生は尋常科五年に編入。高等科一学年修業生は尋常科六年に編入。

大正7年4月

(一九一八)

高等科二ケ年設置。

大正12年4月

(一九二三)

久志村より東村として分村。有銘尋常高等小学校と改称する。

昭和16年2月

(一九四一)

勅令第一四八号を以て国民学校令公布される。その主なる点は下記のとおりである。



天銘尋常小学校と子どもたち。明治34年(「沖縄縣學校写真帖」那覇出版社より)

昭和20年3月

(二九四五)

三月二十三日より米軍機動部隊によって空襲が始まり四月一日に米軍上陸し、住民は山に避難する。日本軍は敗れて本島南部へ後退し、六月頃より本村にも時々米兵が来るようになり部落民は山小屋に避難中、沖繩戦の敗戦を聞き七月中旬下山、羽地に收容され働ける男子は皆軍作業に働かされ、女、子供はカンパン生活をし児童生徒は学校に通うようになる。教科書もなく唯遊んで日々を過ごす。十月解放され、羽地より郷里に帰り各区に初等学校を開設。

- 1、校名を国民とする。
- 2、同日、公立学校職員待遇官等等級令中勅令第五七号を以て改正したこと。
- 3、同日、勅令第一五八号を以て公立学校職員俸給令を改正したこと。
- 4、国民の就学義務を八ヶ年としたこと。
- 5、教科及科目を改正したこと。
- 6、編制において従来の尋常科を初等科と改称したこと。

3月 国民学校施行規則公布

4月 国民学校制度により教育を実施し、有銘尋常高等小学校を有銘国民学校と改称する。

12月 大詔奉戴、米、英に対し宣戦の詔書降る。



昭和15年頃の有銘尋常高等小学校 (写真提供：平良農勇)

8月 終戦。「昭和20・3大東亜戦で校舎全焼」  
10月 現在の敷地に仮校舎を建設し、有銘初等学校と称する。校長事務取扱 新里義雄氏任命。在籍三二四人（男一四六人、女一六八人）

昭和21年4月 本年度に於ける主要施設として

(一九四六)

1、テント小屋教室 十二建築

2、木造茅葺教室 八建築

3、運動場整理

在籍三四八人（男一六七人、女一八一一人）

昭和22年4・6 入学式並びに始業式 在籍三六三人（男一七三人、女一九〇人）

(一九四七)

有銘区女子青年会員、四〇人校庭整理作業行う。

5・3 塩屋警察署長、松井義正氏両区の青年一般へ講演。

5・8 宮城校長 青年会へ英語講習開始。

5・11 母の会 部落別に学芸会を開催する。

5・20 翁長良喜牧師生徒一般へ講演。

6・13 受験生父兄会。

6・17 家庭訪問 福地始め五日間で終了。

7・10 東校に於いて村内バレーボール競技会 女子優勝

男子二位

7・31 一学期終業式。

9・1 二学期始業式。



昭和28年頃の学校周辺（写真提供：山城定雄）

9・28 運動場整理のためブルドーザ到着（運転手長浜氏、

助手 松田氏）十月五日、作業終了。

10・22 地区初等対抗陸上競技会、辺・初校に於て開催

本校参加。

10・27 全校遠足。

11・19 校区内秋季大運動会開催

12・23 二学期終業式。

12・26 学校後援会評議員会。

1・7 三学期始業式。

1・17 全校種痘接種

3・28 一九四七年度卒業式。

### 昭和23年

(二九四八)

入学式並びに始業式。在籍 初校の部二八五人

(男二九人、女一四六人)。中校の部 一一六人

(男五五人、女六一人) 初等学校、中等学校とし

て学制改革される。

4・21 東村教育会総会。

5・3 家庭訪問開始七日終了。

5・29 三年以上談話会実施両区学事奨励会。

5・30 慰霊祭。

6・29 辺土名高校独立祝賀陸上競技大会に参加。

初校三等、中校四等、男リレー一等、女二〇〇米

一等。

7・4 アメリカ独立記念日につき休業。



辺土名地区陸上競技大会において初優勝、賞状を受け取る宮城正則君（学校アルバム）

昭和24年

(一九四九)

- 7・6 腸チブス注射実施 二回目二十一日行う。
- 8・26 二学期始業式。
- 9・1 工作手芸展示会。
- 9・29 東中校で村内童話会行う。
- 10・4 一晚中暴風雨で校舎全部倒壊。校長住宅も屋根吹飛され、梯梧も枝折れる。
- 10・5 倒壊校舎の整理。露天授業開始。
- 10・26 辺土名高校に於いて初・中校陸上競技大会並びに  
展覧会開催。初・中校ともに三等。
- 11・9 各部落分担校舎全部完成する。
- 11・11 校舎落成祝賀運動会挙行。
- 12・24 第二学期終業式。
- 1・8 第三学期始業式。
- 2・23 宮城校長 名護英語訓練主事へ転任。校長事務取扱。島袋徳盛教官発令。
- 3・28 修了式。卒業式挙行
- 4・9 入学式並びに始業式。在籍 初校二七五人(男一三八人、女一三七人)、中校一四一人(男六三人、女七八人)。式後 校区成人会、青年会の合同野球試合。
- 4・20 後援会 評議員会開催。会計報告。会長選挙。宮城調春氏就任。
- 5・8 母の日 午後、学童の遊戯や青年会の舞踊を行い



陸上競技大会優勝祝賀会 (写真提供：平良農勇)

盛会裡に終了。

5・10 家庭訪問。午前中授業。午後より実施、十三日終  
わる。

5・17 身体検査。有銘診療所、新崎幸生氏によって実施。

6・14 東初・中校対有銘初・中校の野球大会を本校で実  
施。初校―東初校。中学は有銘中優勝。

6・16 地区教育会総会を大宜味村初等学校で開催。全職  
員出席する。

6・25 地区中等学校各校对抗野球大会を辺土名高で実  
施。

7・14 上原亀吉氏、有銘初中等学校長として就任。

前東初校長、金城徳明氏外、村議一名同行。

9・9 東村教育会総会を東校で開催。全職員参加。

11・6 秋季大運動を挙行。校区外。村外からの来賓も多  
く例年ない盛況。

11・20 天仁屋区対有銘区のバレー、野球、陸上競技の試  
合を本校で実施。

11・25 後援会総会、午前中授業参観、引き続き総会参加  
(父兄母姉、百五名稀に見る出席)

12・25 第二学期終業式、ララの贈物クリスマス用菓子を  
全児童生徒へ配給する。

1・26 辺土名地区教育長、宮城定蔵先生、地区教育委員  
東村助役、伊集盛安氏、東中校長、金城珍徳氏学  
校視察のため来校。



有銘校運動会の名物「マチ棒」昭和41年頃 (写真提供：平田嗣雄)

- 昭和25年  
(一九五〇年)
- 2・9 東村教育会総会を本校にて開催。午前中、研究授業と授業研究会、午後総会と懇親会。
  - 3・22 卒業式並びに修了式、午後より学芸会並びに謝恩会。
  - 3・30 生徒用机、腰掛け、職員用椅子テーブル、教卓類完成する。
  - 4・6 (男六四人、女七四人)。式後、父兄による感謝懇談会開催。
  - 4・12 有銘診療所医師(新崎幸生氏)による種痘接種。
  - 4・16 賜チプス予防注射。第二回二十七日に実施。
  - 6・12 全島第一回美化運動週間の優良校として公衆衛生部長より表彰状を授与される。
  - 6・18 午後六時より後援会総会后、机、腰掛、その他備品の完成祝賀会を挙行する。
  - 6・24 伊野波盛行氏オルガン、その他備品購入のため、貳万円寄附する。伊野波氏に感謝状贈呈。
  - 6・27 東村教育会総会。高江校で開催し本校職員前日午後出発、一泊する。
  - 6・27 校区内児童生徒並びに一般の部落対抗陸上競技会開催。一等石田、二等本字、三等照久、福地、四等慶佐次、石田部落に優勝旗を授与する。
- 昭和26年  
(一九五一年)
- 4・6 始業式を大雨のため各学級で行う。入学式を午後三時より挙行し、新人生に赤飯と菓子を配って入学を祝う。式後、父兄による感謝会。在籍、初校の部二四四人(男五二人、女一九人)中校の部一〇九人(男一二五人、女五七人)
  - 4・26 身体検査。比嘉武夫医師により実施。
  - 4・27 家庭訪問。五月二日終了。
  - 5・13 母の会、学童の学芸会開催する。
  - 5・30 後援会総会、午後より校区内部落対抗、排・野球大会。
  - 6・6 ブランコ・滑り台溶接作業。
  - 6・8 全職員。宜野座中校視察。
  - 6・17 初校・中校、排・野球選手嘉陽校遠征試合。
  - 6・29 地区排・野球大会
  - 7・20 第一学期終業式。
  - 8・4 宜野座中校全職員学校参観のため来校、午後懇親会、翌朝帰校される。
  - 9・22 校区内陸上競技部落対抗大会。二等石田。
  - 10・5 地区対抗陸上競技大会。辺土名高校で開催。中校四位、初校三位。
  - 10・8 中学三年生修学旅行。又吉、島袋引率(二泊三日)
  - 11・3 秋季大運動会挙行。
  - 12・22 地区珠算大会を喜如嘉中校で開催。入選者四人、中三名。初校、宮城君子、山口栄伸、中校、新垣

須恵子。

12・23 新校舎落成祝賀式を挙行。

1・1 新年祝賀式並びに祝賀宴会。

1・8 職員家族親睦会。

1・10 全島珠算大会。本校三名共入選しない。

2・20 高等学校入学試験。本校受験生十二名。

2・24 地区内教頭会を本校で開催。地区教頭、教育長参加。

3・2 立法院議員選挙の有銘分会場として本校教室使用。

3・25 卒業式並びに修了式。学芸会開催。父兄による謝恩会催す。

3・28 校名変更により、小学校、中学校と改称する。

### 昭和27年

(一九五二年)

入学式挙行。式後父兄より全職員招待を受け新校舎で懇談会並びに感謝会。

4・6 始業式。在籍小学校一七五人(男八四人、女九一人)。中学校一二五(男六七人、女五八人)。

4・20 米・琉親善展覧会に参加。児童製作品意匠製作品発送。

4・26 慶佐次ウツパマへ潮干狩を兼ね遠足。

5・6 後援会。役員会を午後六時より開催PTAに改組並びに規約審議。



昭和26年頃の学校職員 (写真提供：島袋徳盛)

- 5・8 P T A総会を開催し午前中授業参観と受持ち職員との懇談会、午後二時よりP T A規約について協議会。盛会裏に終了する。
- 5・10 教育委員会委員と会計係の選挙。
- 5・12 家庭訪問。十七日終了。
- 5・18 母の会、敬老会を兼ね午後三時より児童生徒の小学芸会を開催する。
- 5・20 プルトーザーに依る校舎裏の土くずれ片付。(自二十日～至二十九日)。
- 5・31 校舎裏土崩止めの石垣作り完了。
- 6・9 大洪水のため河の土堤二か所。照久道路一か所決壊。その他農作物に甚大な被害を受ける。校舎裏の石垣一部決壊。
- 6・12 各学年国語、算数の基礎力の調査開始。
- 6・23 有銘診療所(又吉氏)によって身体検査を施行する。差し当り皮膚病とトラホームの徹底的治療を行う。
- 6・24 職員、午後より天仁屋海岸に潮干狩りを決行。
- 7・5 地区主催写生会を東村児童生徒を対称にして平良区で辺高教頭平良泉幸先生指導の下に実施・参加する(生徒十五名、又吉慶典、石川元康両教諭引率)。
- 7・8 映写会。平良景太郎。社会教育主事一行五名により実施される。



昭和37年頃の運動会 (写真提供：翁長ナハ)

- 7・9 村教育会総会。午前中役員選挙並びに会則審議を行い、午後、屋良朝苗氏の講演を拝聴。
- 7・19 第一学期終業式。
- 9・12 小六年研究授業、体育、平良晨勇教諭。
- 10・7 地区対抗陸上選手権競技会。小学校四点、中学校四点。
- 10・8 新任式、大城博、佐久本清実両教諭就任。
- 10・17 当真幸子先生赴任。新任挨拶を行う。
- 10・19 中三年生。三〇名。修学旅行、島袋教頭、佐久本助教諭引率。
- 10・30 秋季校区大運動会。
- 11・8 宮城校長赴任。
- 11・10 新任式。宮城校長。
- 11・13 午後六時よりPTAの校長歓迎会。
- 11・24 校内珠算大会。
- 12・1 中一B、研究授業。佐久本助教諭。校内童話大会  
午後より開催。
- 12・4 保健所。比嘉衛生課長外三名学校衛生検査のため  
来校。
- 12・12 東村教育会総会。村童話・お話・予選会。  
村代表。中二宮城正雄、小校四年宮城悦夫。  
地区珠算・童話・お話大会。辺小校で開催。
- 12・15 成績 珠算 一番 小校六年 崎山佐智子  
一番 中校三年 新垣須恵子  
童話 二番 小校四年 宮城悦夫



家政科の授業 昭和33年（1958）学校アルバム

- 二番 中校二年 宮城正雄
- 12・24 第二学期終業式。
  - 1・1 元旦、午前十時。新年式同祝賀会。児童生徒父兄、高校生合同のど自慢大会。
  - 1・6 第三学期始業式。
  - 1・12 卒業生記念撮影
  - 1・14 午後四時より受験生父兄会。
  - 1・15 図画指導主事、平良先生来校。三時限目、中一A授業参観、四時限目、中学生全員に図画について講話。午後職員に指導助言。
  - 1・19 教育長、上原指導主事学校視察のため来校。四時限目授業参観。午後指導助言。
  - 1・23 中二、社会科研究授業。福山朝秀教諭。
  - 2・7 中二、家庭科研究授業。當真幸子助教諭。
  - 2・10 衛生検査のため保健所、比嘉課長外二人来校。午後一般へ講話。
  - 2・17 午後六時よりPTA役員会（校舎建築について）
  - 2・19 仮校舎移転修理について打ち合わせ会。
  - 2・22 全島高校入試始まる。
  - 2・23 慶佐次区仮校舎萱刈り。
  - 2・23 仮校舎移転築作業。有銘区人夫六人、中学生全員。
  - 3・2 PTA役員会。
  - 3・21 中校卒業謝恩会。
  - 3・24 卒業式挙行。午後より学芸会。父兄の謝恩会。



昭和35年（1960）頃の学校給食（写真提供：当山全伸）

3・25 割当新校舎建築着工。

昭和28・4

(一九五三)

学校教育も軌道に乗り愈々学校諸行事も例年同じものを繰り返すので、そういうものは、割愛省略、記録を簡略する。

・教頭島袋徳盛屋部小へ転勤。

・小学校複式学級を一学級編成しなければならぬものを複式編成せず中学校家庭科担任、當真幸子助教授を一年の担任にまわす。

・小学校は学級減により教師一人減となる。

5・25 学校生徒会新聞創刊号発行。

6・5 学校新聞名を沢山応募の中から左記のものが当選決定する。

一位「美山新聞」、二位「有明新聞」三位「が  
じまる」

7・2 校内童話大会。

7・7 職員便所落成。

7・15 一学期終業式。

7・20 本日より認定講習始まる。本校十一名受講する。

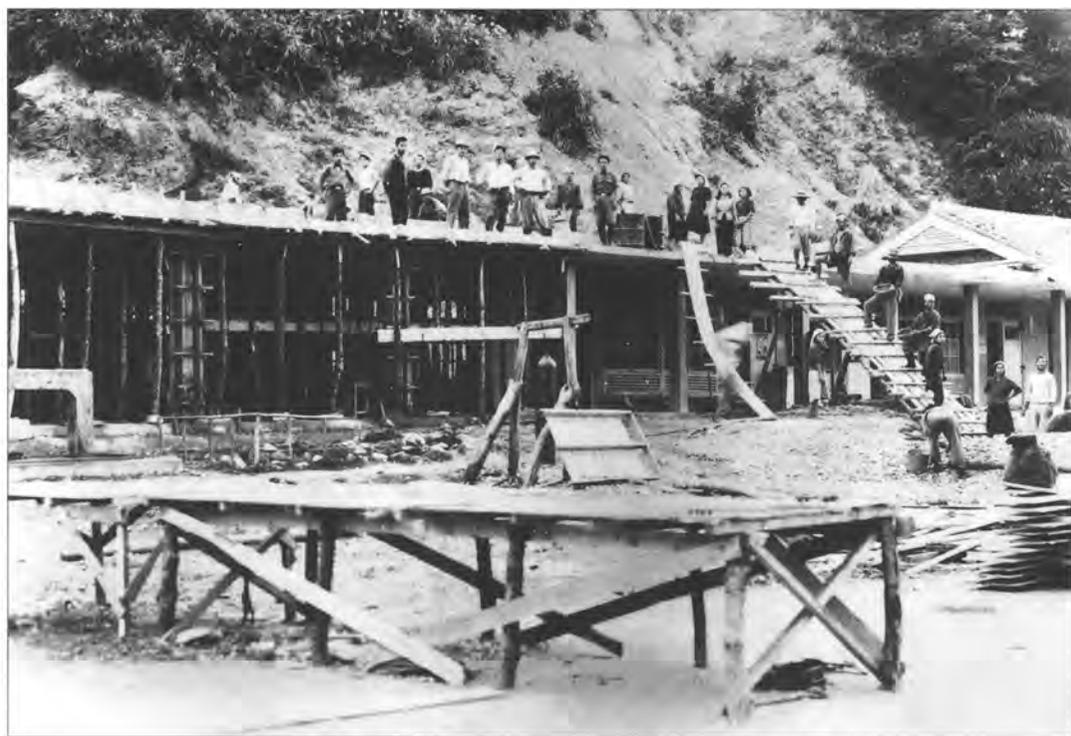
9・1 第二学期始業式。

9・17 村教育会総会（於：高江校）

9・23 P T A 総会並びに新校舎落成式。

日程 一時～一時四〇分 授業参観。

二時～二時四〇分 学級懇談会。



新校舎建築 昭和27年（1952）3月（写真提供：翁長ナヘ）

- 昭和29年4・1  
(一九五四)
- 5・7 辺地区教職員組合結成大会（於：喜如嘉校）
  - 5・5 子どもの日 全校遠足。
  - 4・17 東村教育会総会
  - 3・20 卒業式並びに学芸会。
  - 1・8 崎山美智子教諭、天仁屋校転勤、離任式行う。
  - 1・12 国吉朝子教諭、天仁屋校より転入。新任挨拶。
  - 2・19 学校林に杉造林を行う。（六十周年記念事業）
  - 3・20 卒業式並びに学芸会。
  - 卒・修了式 一〇時～一二時三〇分
  - 学芸会 二時三〇分～六時一〇分
  - 謝恩会 六時四〇分～九時
  - 12・20 村制施行三〇周年記念日  
午前八時より児童生徒職員旗行列、小校～慶佐次まで、お菓子配布。
  - 12・18 地区珠算、童話大会（於：大宜味小校）  
珠算 中校 一等 新垣秀子（有銘二年）  
二等 山口栄伸（同一年）  
童話 小校 一等 宮城悦夫
  - 11・11 又吉慶典教諭。那覇上山中校へ転勤。  
PTA主催の送別会開催。
  - 三時～五時 総会  
五時～八時 落成祝賀会



古堅宗徳校長先生による社会科の授業 昭和33年（1958）（学校アルバム）

- 昭和30年  
(一九五五)
- 5・15 家庭訪問(午後教育懇談会)
  - 5・22 畦払い(アブシバレー) 両区学事奨励会
  - 7・2 校内写生大会(四年以上)、午後より実施。
  - 9・9 小六年、中三年、修学旅行実施。
  - 10・9 辺土名地区陸上競技会。
  - 10・13 小五年以上。知能検査実施。
  - 10・21 校舎落成式並びに校内運動会。  
(鉄筋ブロックA型一教室)
  - 11・28 全島教職員各種競技大会  
平良晨勇、石川元康地区選手として出場。
  - 12・3 学力標準検査。小六年、中三年。  
校内童話、お話大会
  - 12・4 学力標準検査 小六年(社、理)
  - 12・29 日本健青会より大国旗寄贈。
  - 1・14 全島童話・お話大会。山口栄三君出場  
※その後、記載なし。
- 在籍 小学校一六〇人(男八〇人、女八〇人)  
中学校 八九人(男四六人、女四三人)
- 4・1 社会教育現況視察及び研修会のため平良景太郎主事来校。教育長、上原指導主事、ミルク状況視察のため来校。
  - 6・11 戦災校舎復興募金に依る理科実験器具第一陣受取
  - 10・3



昭和32年(1957)当時の校舎と校門 (学校アルバム)

り。十一日第二陣受取り。十一月二日、第三陣受取る。

11・15 中三年、知能テスト実施（文教局）

11・16 校内珠算・童話大会。

12・3 地区内童話大会。珠算検定。

1・10 冬季課題展。

1・20 校歌作曲される。 作詞 松根 盛秀先生

2・3 全琉中三年、義務教育学力テスト実施。 作曲 渡久地政一先生

2・9 記念図書館竣工。

2・26 創立六〇周年記念式典挙行。

3・16 卒業式挙行。

昭和31年

（一九五六）

一学期始業式。

在籍小学校一九〇人（男九五五人、女九五五人）

4・3 中学校 八六人（男四六人、女四〇人）

4・5 具志堅教諭の離任式。

4・6 港川笑子教諭の新任式。

6・5 石造校舎葺替（二教室A型）PTAによる。

12・11 中校マラソン大会挙行。

3・15 卒業式挙行。

昭和32年

（一九五七）

宮城政忠校長転出（津波小中校へ）

4・1 古堅宗徳校長転入（有銘小中校へ）



創立60周年記念式典 昭和31年（1956）2月26日 （写真提供：平良農勇）

- 10・19 運動場東角一部拡張（PTA）  
 12・27 調理室物置、機電室一六坪建設竣工（PTA）  
 ※在籍及び主な行事の記載なし。

昭和33年

（二九五八）

- 1・10

民法による教育四法（教育基本法、教育委員会法、学校教育法、社会教育法）公布される。

※在籍及び主な行事等記載なし。

※昭和三十二年～同三十六年度までは未記載  
 で詳細不明（要調査）

昭和37年

（二九六二）

- 4・1

在籍 小学校二四六人（男一一五人、女一三二人）  
 中学校一二二人（男六三人、女五九人）

- 5・6

有銘青年会研究発表会（文教局指定）。文教局長、  
 社会教育係長来校。盛会裏に終了。

- 5・26

平良診療所・内藤医師により児童生徒身体検査  
 （健康診断）施行。

- 6・16

辺高校主催地区中学校バレーボール大会挙行。

- 7・6

六十一会計年度割当校舎一教室終了検査、同時に  
 水道検査実施。

- 11・24

名護総合グラウンドに於て全島中学校陸上競技会  
 開催。地区代表として中三、翁長良成君出場。

- 1・17

中央教研集会、本校六年生大城博教諭の指導公開。  
 琉大体育館に於いて好評を受ける。



琉球大学で行われた「第9次教研中央集会」で公開授業 昭和37年（1962）（写真提供：翁長ナヘ）

- 昭和38年  
(一九六三)
- 3・13 中学校卒業式挙行。
  - 3・23 小学校卒業式。式後謝恩会。
  - 3・26 新中三年、修学旅行、二泊三日の予定で出発。  
引率者 教頭 玉城武上  
教諭 島袋義久、前田八重子
  - 4・1 在籍 小学校二二六人(男二〇〇人、女二六人)  
中学校一一九人(男五九人、女六〇人)
  - 4・6 離任式(大城博、大城笑子)
  - 4・25 始業式、入学式、新任式(喜納、石川)
  - 5・13 職務会(学校経営の検討)
  - 6・16 家庭訪問の実施。
  - 6・18 中央教育委員学校視察。学校の要望事項「砂防堤の造成訴える。」
  - 6・18 台風四号(シャリー)のため臨時休校
  - 6・26 文部省主催、全国学力テスト(中一、中二、小五、小六)。教員それぞれ交換で実施。
  - 7・4 水泳指導、本日より三日間実施。
  - 8・5 夏季学校管理状況視察。宮城盛雄主事、大城盛吉氏。
  - 8・8 全島中学校バレーボール大会地区代表として、参加(於：仲西中学校)
  - 10・17 大田政作主席、児童生徒への激励のお話(有銘部)



昭和38年(1963)頃の学芸会の様子 (写真提供：平良農勇)

落訪問の途路)

10・29 玉城幸雄体育主事。徒手体操の実践指導。

11・7 日本政府による今年度高校生特奨生合発表。本校

中三年寺田彦貞合格通知受ける。

12・16 東村、久志村より分村・四十周年記念式典並びに

新庁舎落成祝賀会挙行。全職員参加。

1・10 早大総長大浜信泉先生、琉石山地農業試験地訪問

の帰途、児童、生徒に講話される。

1・24 神谷厚元氏ブラジル渡航記念にアコーディオンの

寄贈。

3・2 渡口政徳氏軍払い下げのブロック四六〇枚寄贈。

3・8 饒波正栄氏ブラジルよりの帰省記念にベネズエラ

産ワニ剥製一匹寄贈。

3・10 中学校卒業式挙行。区教育委員長宮里松次氏臨席

のもと盛大に終了。

中三卒業生体育準備室建設のため四十弗寄贈。

3・21 小学校卒業式並びに小、中校修了式挙行。

3・22 中校三年生修学旅行実施。

昭和39年

(二九六四)

在籍 小学校二二二人(男一一一人、女一〇一人)

中学校一一五人(男六一人、女五四人)

4・1

10・9

地区中体連陸上競技大会に於いて記録更新。

棒高跳 二、九五m、中三 佐久本盛次



慶佐次橋にて水泳教室 1959年(昭和34) (学校アルバム)

昭和40年

(一九六五)

- 10・10 東京オリンピック開会式。
- 3・1 官有林有銘駐在主事・与那国氏より本土産黒松苗十五本寄贈。
- 3・6 PTA総会
  - 六三会計年度決算承認の件。
  - 七十周年記念行事実施の件。
- 3・22 ピアノ受領。PTA饒波正行会長、宮城功雄校長。卒業式挙行。ピアノ伴奏で一同大感激。
- 3・24 卒業式挙行。ピアノ伴奏で一同大感激。
- 4・1 在籍 小学校二〇六人(男一〇二人、女一〇四人)
  - 中学校一一六人(男五八人、女五八人)
 大阪在、仲嶺真寿氏より寄附者名簿並びに決算書届く。
  - ・寄附総額 二八万七千円。
  - ・ピアノ 二五万一千五百五拾弍円。
  - ・校旗 二万八千円。
  - ・雑費 七千四百四拾八円。
- 5・20 家庭訪問開始 慶佐次より。
  - 神戸女子薬科大学より薬品一箱、神戸大学より図書七箱寄贈。
- 8・27 政府補助による小学校、机、腰掛、届く。給食室建設用地の地質調査。
- 1・3 横浜大学教授、宮城栄昌文学博士来校。



東京オリンピック聖火リレー 昭和39年(1964)9月8日 (写真提供:平田嗣雄)

2・26 七十周年記念式典並びに祝賀宴盛大に挙行。

昭和41年

(一九六六)

在籍 小学校一九九人(男九八人、女一〇一人)

中学校 一〇五人(男五八人、女四七人)

4・1

給食室の配筋検査。

5・7

北部連合区次長 宮城盛雄氏。奥間氏。理科研究校としての打合わせ指導。

6・3

ペルー在、慶佐次出身・大城安吉氏、ワニ剥製品寄贈。

7・13

文教局施設課長・武村朝申氏、給食室落成検査のため来校。

7・14

日政援助による備品テレビ二台納入、

10・17

中学校父兄学校参観。

1・28

中学校・学校林造成。

3・3

北部連合区指定理科研究発表会。

昭和42年

(一九六七)

在籍 小学校一八〇人(男八三人、女九七人)

中学校一〇一人(男五三人、女四八人)

4・1

ミュージック・チャイム寄贈(渡口政徳氏)

10・1

生物分野に(主として植物のみ)における系統的指導。

中二年、中南部地区へ修学旅行。



創立70周年時の期生会実行委員並現職員 (写真提供:翁長ナハ)

- 昭和45年  
 在籍 小学校 一四三人(男六七人、女七六人)
- 昭和44年  
 (二九六九)  
 在籍 小学校 一五四人(男七三人、女八一人)  
 中学校 九六人(男四七人、女四九人)
- 昭和43年  
 (二九六八)  
 在籍 小学校 一六六人(男八一人、女八五人)  
 中学校 九〇人(男四六人、女四四人)
- 7・ 水道路濾過装置(教育委員会予算)
- 10・ 伊佐常義氏ヘルミ移民郷土訪問旅行の際、学校へ八十弗寄贈。(オルガン購入)
- 4・1 本土医師団による学童検診。
- 5・24 北部連合区による総合指導。
- 6・20 名護ライオンズ倶楽部より図書五〇〇冊寄贈。
- 6・27 ブック・スタンドと共。
- 7・15 宿直室。衛生室六坪落成(委員会予算九〇〇弗)
- 8・25 六八会計年度追加教室、一教室落成(又吉清氏建築) 六八・六着工(渡嘉敷組)
- 4・1 図書館新築(二階政府補助着工。八月竣工)
- 4・ PTA総会 新会長 仲嶺真雄、副 饒波正秀、知念秀夫、旧会長 饒波正行氏(教育委員会へ転出)。



秋季運動会 昭和43年(1968)10月12日 (写真提供:平良晨勇)

(一九七〇) 中学校 八二人(男四一人、女四一人)

4・1

4・5 技術、家庭科教室工事着工。

5・16 PTA総会

7・4 台風警報発令により休業。

9・7 学校完全給食開始。

10・10 秋季運動会。

11・4 中二年修学旅行(二泊三日)

2・21 校長住宅改修工事完了。

2・28 学習発表会。

3・13 卒業生の記念植樹。

3・20 修・卒業式。

### 昭和46年

(一九七二)

在籍 小学校 一二九人(男六五人、女六四人)

中学校 七八人(男三七人、女四一人)

4・1

有銘幼稚園開園。

4・30 地区球技大会(男子 排球準優勝)

6・29 有銘小・中学校一級へき地校に指定される。

7・1 運動場整地、石積工事着工。

7・5 辺土名地区お話大会で知名幹夫優勝する。

12・4 PTA美化作業。

12・17 「緑と花いっぱい運動」優良校として表彰される。

3・11 卒・修了式。

3・22



昭和45年頃の校舎 (写真提供：平良晨勇)

昭和47年  
(一九七二)  
在籍 小学校 一一人(男五一人、女六三人)  
中学校 七四人(男三七人、女三七人)

4・1  
5・15  
日本復帰

10・8  
秋季運動会。

10・18  
共同訪問(真栄城主事外三人)。

11・7  
指導員学校訪問(丹羽、前田両主事)。

2・7  
学習発表会。

3・23  
卒業式並びに修了式。

昭和48年  
(一九七三)  
在籍 小学校 一〇九人(男五一人、女五八人)  
中学校 七二人(男三〇人、女四二人)

4・1

4・28  
若夏国体の炬火リレー、有銘、慶佐次通過。

篤志家寄付による、スベリ台設置。

(知念秀雄、伊佐常雄、牧志昌広、饒波氏)

11・12  
チャイム工事及び時報取付

11・19  
本土派遣音楽指導員(小原先生来校)。

3・23  
卒業式。

昭和49年  
(一九七四)  
在籍 小学校 九九人(男四六人、女五三人)  
中学校 六七人(男三五人、女三二人)

4・1  
中学校 六七人(男三五人、女三二人)

9・19  
NHK「子どもの広場」録画、取材、十月八日放



学校上空から撮影・有小の人文字が描かれている 昭和47年(1972)撮影(写真提供:平良農勇)

送。本校児童生徒会役員全沖繩に紹介する。  
教員住宅竣工。

八〇周年記念事業推進委員会発足。

3・22 卒業式・修了式。

3・31 備品管理室(体育、校具、更衣)

### 昭和50年

(一九七五)

在籍 小学校 九三人(男四四人、女四九人)

中学校 六五人(男三二人、女三三人)

4・1 ※学校行事等記載なし。

### 昭和51年

(一九七六)

在籍 小学校 八八人(男四一人、女四七人)

中学校 六三人(男三四人、女二九人)

4・1

4・7 一学期始業式、新任式、体育館周辺整地。

4・8 入学式 小一、一五人、中一、二〇人。

4・9 体育館竣工検査。

4・10 入園式 九名。

4・17 体育館用グラウンドピアノ入荷

(寄贈者 東開発社長 仲泊弘次氏)

5・27 第一回校内全体研修会。具志堅興指導課長、上間

長徳主事来校。

6・10 村教育長、教育委員学校視察来校。

6・20 体育館周辺緑化作業(PTA、一般住民、青年会)

6・24 中体連主催、球技大会サッカー二位入賞(北部地



若夏国体炬火リレー 昭和48年(1973)4月28日 (写真提供:平田嗣雄)

- 6・30 体育館南側ブロック塀改修工事完了（東開発区）
- 7・3 創立八十周年記念体育館落成式並びに祝賀会。卒業記念像献立。
- 7・16 体育館建設期成会解散総会。
- 7・17 台風九号のため臨時休校。
- 9・2 市販ミルク（加工乳）学校給食に取り入れ実施始める。
- 9・3 遊具（回施塔、ブランコ、雲梯、スベリ台、エン木）の設置。（八十周年記念事業期成会募金による）管楽器購入（同右）。
- 9・9 台風十七号による臨時休業。
- 9・26 秋の運動会。
- 11・1 中二、九州方面修学旅行団出発（第一回）参加者二十一名。
- 12・9 運動場用地確保推進委員会発足。  
（委員長 上原朝明氏）
- 12・26 北部地区中体連主催新人球技大会でサッカーの部優勝。
- 1・10 校内駅伝、マラソン大会。
- 2・5 学習発表会。
- 2・15 小六、修学旅行（中・南部）実施。
- 2・15 インフルエンザ感染児学級在籍の七三％に及び小  
学校四年生臨時休業となる（二六日まで）。



昭和51年当時の学校職員 昭和56年（1976）3月24日（写真提供：平良晨勇）

3・8 同右の理由で中一も臨時休業（十日まで）。

3・19 第六回卒園式。

3・23 小・中学校卒業式並びに修了式。

卒業生、小校一七名、中校二二名。

3・25 テント一張寄贈される。

（比嘉仁昌氏、上原朝明氏、宮城勉氏）

### 昭和52年

（一九七七）

在籍 小学校 八〇人（男四〇人、女四〇人）

中学校 五八人（男二八人、女三〇人）

4・1

始業式 新任式、入学式。

沖縄県教育委員会指定研究校に決まる。

研究領域（教育課程）

4・11

幼稚園入園式。

5・2 春の全校遠足実施（天仁屋ウンダチ浜）

5・12 PTA総会。

仏桑花の会作文最優秀賞（知事賞）受賞。

（中一 上原順子）

6・27 中体連地区球技会参加。男子サッカー準優勝。

6・30 PTA主催講演会開催（講師：宮城盛雄氏）

7・2 水泳教室実施（於：慶佐次ウツパマ）

7・15 校内陸上競技大会（小中合同）実施。

7・20 第一学期終業式。

7・27 新校舎（一、〇〇〇平方米）地鎮祭。



春の遠足が天仁屋ウンダチの浜で行われた 昭和52年（1977）5月2日（学校アルバム）

- |  |       |  |
|--|-------|--|
|  | 8・1   | 同上着工（施工者 東開発 設計管理国吉設計）   |
|  | 9・1   | 第二学期始業式  |
|  | 9・23  | 秋季運動会（有銘公民館前仮運動場）  |
|  | 10・27 | 中体連地区陸上競技会（於：名護市営競技場）<br>（中一男 走幅跳二位入賞 仲嶺真正）  |
|  |       | （中一男 四百米継走三位入賞）  |
|  | 11・10 | 小学校秋の遠足、修学旅行実施（小一・二オリオ<br>ンビル工場、小三・四本部半島、小五・六那覇<br>中体連全沖縄上競技大会（於名護市）に地区代表<br>として中一仲嶺真正君出場、中一男走幅跳で第二<br>位入賞（記録五米三〇） |
|  | 11・23 | 体育館西側フェンス五五米設置（島袋鉄工所）<br>電照栽培施設完工（島袋鉄工所）   |
|  | 11・25 | 校内音楽会、菊展示会（体育館）  |
|  | 12・2  | 辺土名地区お話大会に村代表として中三・石原昭<br>彦君、上原明子さん参加。   |
|  | 12・24 | 第二学期終業式。   |
|  | 1・6   | 第三学期始業式、校内書初大会（於体育館）   |
|  | 1・7   | P T A他校参観研修（屋我地小・中、伊豆味小・<br>中校）  |
|  | 1・28  | 学習発表会  |
|  | 2・17  | 校門改修工事着工（新設）村予算（東開発）   |
|  | 2・24  | 県教委指定研究発表会（一年次）午後一時三〇分<br>授業者 小一・宮城悦子教諭（学級指導）  |



新校舎の建築工事始まる 昭和52年（1977）7月（学校アルバム）

小三・高良玲子教諭(学級会)

小六・比嘉智枝子教諭(学級会)

中二・謝花健一教諭(美術)

発表者 東江徳秀教諭 大城成孝教諭

3・25 新校舎花壇花木植付(サツキ、サザンカ、ツツジ、ヒバ) P T A 環境整備部予算

3・8 新校舎へ移動(中学教室、理科教室、図書室、職員室、保健室、放送室、備品室等)

3・20 第七回卒園式

3・24 修了式、卒業式(小校卒九人。中校卒二人)

昭和53年

(二九七八)

在籍 小学校八九人(男四六人、女四三人)

中学校四五人(男二人、女二四人)

4・1

始業式・新任式・入学式(十六名)

4・7 体育館前アスファルト施工(田場組寄贈)

4・10 入園式

4・26 新校舎大時計設置(贈・東開発)

5・8 春の全校遠足・潮干狩り(天仁屋海岸)

6・3 新校舎裏マンホール安全フェンス設置

6・7 P T A 総会

新役員 会長 具志堅興徳氏

副会長 伊佐常雄氏



昭和52年度の学校職員(学校アルバム)

- 6・25 仏桑花の会主催作文コンクール最優秀賞  
 (知事賞) 受賞、中二、仲泊栄次君  
 〃 〃 玉城三男教頭
- 7・7 交通方法変更安全指導(三、四校時運動場)  
 (名護警察署 松川清悦警部補)
- 7・8 全校水泳教室実施(P.T.A.全面協力)
- 7・15 P.T.A.作業、学級P.T.A.、臨時総会
- 7・20 第一学期終業式。
- 7・31 校内T・C(四年生以上全員)
- 8・9 「七・三〇」交通方法変更事後指導(登校団)
- 8・9 給食調理場レンガ釜撤去。回転釜(30kg)二基設置(村教委予算)丸屋厨房施工。
- 8・14 全沖縄サッカー祭で初優勝。
- 9・1 第二学期始業式。
- 9・16 児童生徒会主催校内陸上競技会(総合優勝 慶下次児童生徒会)
- 10・19 秋季運動会実施。
- 10・25 地区陸上競技大会、棒高跳一位入賞、仲嶺真正君
- 10・28 中学校修学団出発中三・二十名、中二・十六名
- 11・2 小一〜四年、中一、幼稚園、秋の遠足、中二、三年、修学旅行団帰校。
- 11・4 小五、六年修学旅行(二泊二日)
- 12・6 学習発表会



教育課程研究発表 小学校6年生の研究授業 昭和54年(1979)2月(学校アルバム)

12・25 二学期終業式。

1・6 第三学期始業式、校内書初大会。

2・5 県教委指定研究報告会（二年次）

3・3 校内ひな祭り集会（第一回）

3・23 卒業式・修了式。

昭和54年

(一九七九)

在籍 小学校八〇人（男三八人、女四二人）

中学校四三人（男二〇人、女二三人）

4・1

6・13 中一・山口栄泉君、仏桑花の会懸賞作文（優秀賞）

本土旅行招待。

8・13 中三・仲嶺真正君第一回九州陸上競技大会へ派遣

され第三位となる。記録三米七〇糎、平良好正教

諭引率。

8・24 小学校旧校舎撤去し新校舎建築着工。

11・7 学習研究社「学研賞」受賞

テーマ「自主、主体性を育てるための特別活動」

10・5 校内変電所竣工。

3・10 小学校新校舎落成（普通教室5、ホール1、便所

2）設計・国吉設計、施工・平良組（今帰仁）

3・14 PTA作業による環境整備、新校舎周辺整理。

新校舎前庭園造園着工。

3・23 修了式・卒業式



「学研賞」授与式 昭和54年（1979）11月7日（学校アルバム）

昭和55年

(一九八〇)

在籍 小学校七五人(男三四人、女四一人)  
中学校四五人(男二四人、女二一人)

4・1

新任式・始業式

4・7

入学式。

4・8

交通安全指導。

5・6

PTA総会、PTAによる新旧職員歓迎会

5・31

中学校女子バレーボール県大会に出場(那覇中に  
敗れる)

7・21

中学校修学旅行、中二・中三・九州(四泊五日)

10・27

小学校修学旅行、五・六年生(二泊二日)

10・31

防災避難訓練

11・29

幼稚園舎竣工(二八〇㎡)(着工八月二〇日)

12・16

第二六回九州へき地教育研究大会会場校となり、  
研究発表を行う。

1・13

テーマ「自主的、実践的態度を育てるための特  
別活動」―児童生徒活動を中心として―  
修了式、卒業式。

昭和56年

(一九八一)

在籍 小学校八二人(男四二人、女四〇人)  
中学校四四人(男三三人、女二一人)

3・24

4・1

4・7

4・8

新任式・第一学期始業式。  
入学式(小一十七、中一十一人)



第26回九州地区へき地教育研究大会沖縄大会が本校で行われた。昭和56年(1981)1月(学校アルバム)

- 4・24 新旧職員歓送迎会、PTA主催（有銘公民館）
- 5・6 春の遠足（潮干狩り）  
幼稚園すべり台設置。
- 5・24 県中学校陸上競技選手権大会  
砲丸投、優勝中三、伊佐敬子
- 5・29 PTA総会
- 6・9 部活動父母の会結成。
- 6・20 国頭地区英語ストーリーコンテスト  
二位 松田健、三位、山口栄三
- 7・9 水泳教室（慶佐次・ウツパマ）PTA会員の協力のもと実施
- 7・20 第一期 終業式
- 7・22・23 第一五回県サッカー祭、中学の部本校男子チーム優勝。
- 7・25 県総合体育大会、女子砲丸投一位 伊佐敬子
- 7・30 校内TC 本校教室をつかって
- 8・7 九州地区中学校陸上選手権大会  
砲丸投（女子） 八位入賞、伊佐敬子
- 9・1 第二学期始業式
- 9・10 校内陸上競技大会
- 10・10 運動会
- 11・5 遠足（小一〜四、中一〜三年）、修学旅行（小五・六年一泊二日）
- 11・28 防災訓練



第15回県サッカー祭にて中学男子の部優勝 昭和56年（1981）7月（学校アルバム）

- 昭和57年  
(一九八二)
- 12・2 学習発表会
  - 12・12 全沖縄縄電話お話大会、中三・伊佐敬子出場  
よい成績を収める。
  - 12・25 第二学期終業式。
  - 1・6 第三学期始業式、書初大会
  - 1・7 昭和一九九年度国民学校卒業生（美松会）一同より、  
テント一張り寄贈。
  - 1・16 校内マラソン駅伝大会。中体連沖縄角力大会  
（団体戦三位入賞）
  - 1・30 東村学校管理規則改正（十一月六日）による主任  
の報告。
  - 2・6 中学三年、保護者会。
  - 3・3 ひなまつり集会（小学校）
  - 3・16 高校入試、新入生保護者会（中一年）  
卒業生を送る会（小）、一九日（同中）
  - 3・20 新入生保護者会（小一年）
  - 3・24 修了式、卒業式。
  - 3・31 離任式、送別会（有銘区公民館）
- 在籍 小学校 七七人（男四三人、女三四人）  
中学校 四三人（男二二人、女二一人）
- 4・1
  - 4・7 新任式、始業式、辞令交付式二時教委。
  - 4・8 入学式（一時）



生徒会長選挙に立候補した5人。（学校アルバム）

- 5・6 交通安全指導、幼・小一・二・三年（名護署交通係員）
- 5・8 春の遠足（潮干狩）慶佐次ウツパマ
- 5・31 PTA総会。
- 6・15 国旗掲揚台・東開発より寄贈（運動場）
- 6・18 PTAによる校地の美化作業。
- 6・24・25 地区中体連球技大会、本校バレーボールチーム準優勝。
- 7・10 水泳教室（ウツパマ）父母の協力を得て実施。
- 7・16 小動物飼育小屋製作。
- 7・20 第一学期終業式。
- 9・1 第二学期始業式。
- 9・3 校内陸上協議大会、父母多数参加。
- 10・3 運動会。
- 11・4 修学旅行（中二・三年生、九州一円の旅）五泊六日。
- 11・5 野外学習、中一年生伊平屋村野甫島にて（二泊三日）
- 11・27 避難訓練。
- 12・5 学習発表会。
- 12・16 地区童話お話大会、中三、牧志明子地区代表になる。
- 12・25 第二学期終業式。
- 12・28 サッカー用バックネット運動場四分の一張る。



思い出の修学旅行・中城公園 昭和57年（1982）（学校アルバム）

昭和58年

(一九八三)

- 1・6 寄贈者 山城定継氏。
- 1・6 第三学期始業式。
- 1・8 童話、お話中央大会（名護中） 牧志明子（奨励賞）
- 2・9 観劇「劇団タンポポ」
- 3・3 ひな祭り集会（幼稚園、小学校）
- 3・24 修了式、卒業式。
- 3・31 離任式、送別会（有銘公民館）

在籍 小学校七十七人（男四四人、女三三人）

中学校三十六人（男一九人、女一七人）

- 4・1 新任式、始業式。
- 4・7 入学式（一時三〇分）、身体測定。
- 4・8 中学理科教室スクリーンの取付。
- 4・15 家庭訪問 二十一日まで。
- 4・18 交通安全指導、幼・小一年（名護警察署二人）
- 4・20 全沖中学校バレーボール大会（選手権）一勝する。
- 5・1 こいのぼり集会。
- 5・4 心理テスト、小二・四・五・六、中二、二四日、二五日。
- 5・24 学力検査、歯科検診。
- 5・26 PTA総会。
- 5・31 村内少女バレーボール大会 優勝。
- 6・18 PTA作業、PTA親睦バレーボール大会。
- 6・22



入学式「ピカピカの一年生」 昭和58年（1983）4月8日 （学校アルバム）

- 6・27 中体連球技大会 サッカー優勝。
- 7・15 家庭教育学級開講式、地域懇談会。
- 7・20 第一学期終業式、字児童生徒会。
- 9・1 第二学期始業式。
- 9・17 校舎（特別教室）建築工事着工。
- 10・2 運動会。
- 11・1 小学校五・六年修学旅行、一泊二日。
- 11・2 秋の遠足、海洋博記念公園。
- 11・13 県中体連陸上競技大会、久高稔君、棒高跳で優勝する。
- 12・7 インフルエンザ予防接種。地区童話、お話大会  
石川元基君地区代表に選ばれる。
- 12・8 米人教師訪問指導。
- 12・11 学習発表会。
- 12・24 第二学期終業式。
- 1・6 第三学期始業式、書き初め大会。
- 1・17 校内マラソン・駅伝大会。
- 2・21 東村学力推進地域（県指定）発表会、学校側からの発表。
- 2・24 観劇「劇団タンポポ」
- 2・28 中学校特別教室（技術・家庭・音楽・美術・生徒会室）五教室竣工。
- 3・12 便所手洗場の改造（小・中各棟）
- 3・23 卒業式並びに修了式。



第10回国頭地区サッカー大会で優勝 昭和58年（1983）6月27日（学校アルバム）

昭和59年

(一九八四)

在籍 小学校七〇人(男四〇人、女三〇人)

中学校四一人(男二人、女一人)

- 4・1 新任式、始業式
- 4・7 入学式(午後一時三〇分)、身体測定(小学校)
- 4・8 幼稚園入学式 身体測定(中学校)
- 4・10 家庭訪問、二六日終了。
- 4・23 春の遠足、小学校全員ウツパマ、中学校北部三村一周。
- 5・2 塵焼炉設置(村費、協和鉄工製)
- 5・13 技術教室電相切換(二相↓三相)
- 5・25 PTA総会
- 5・31 父親授業参観、PTA作業、親睦バレーボール大会。
- 6・20 水泳教室。
- 7・7 中学生リーダー研修会一泊二日(青年の家)
- 7・14 小学校人形劇観劇(琉大児童文化研グループ)
- 7・17 (体育館)
- 7・26 野外キャンプ(小四以上中三まで、一泊二日慶下次前浜)
- 8・11 中一金城有起君県代表として九州中学校陸上競技大会へ参加(一念男子百米、熊本市)
- 9・8 校内陸上競技大会。
- 10・7 秋季運動会。



小学校2年生全員集合 昭和59年(1984)(学校アルバム)

- 10・31 秋の遠足（小学校全員、中学校一年生）
  - 中学校二年、三年生修学旅行九州地方（四泊五日）
  - 11・12 タコあげ集会（小学校）
  - 11・13 村内童話、お話、意見発表会（小五、久高エミ子、地区代表となる。）
  - 11・24 防災避難訓練（全校一斉）
  - 国頭地区中体連駅伝大会へ初参加。
  - 2・26 N H K 学校取材（学校紹介、三月一日放映）
  - 3・2 ひなまつり集会（小学校全員）
  - 沖縄教育版画コンクール学校賞受賞。
  - 3・19 島袋朝穂氏（本校十三代校長、首里山川町二三七）より一、金五万円の寄付を受け、全額図書を購入。
  - 3・21 上原清善氏（沖縄市中央三一五―三八）より一、金拾万円の寄付を受け、全額図書を購入。
  - 3・23 卒業式、修了式。
- 昭和60年  
（一九八五）
- 4・1 在籍 小学校六七人（男三九人、女二八人）  
中学校三四人（男一七人、女一七人）
  - 4・8 新任式、始業式。
  - 4・9 小・中入学式。
  - 4・18 交通安全指導（名護警察署、東村交安協）
  - 4・22 家庭訪問 二五日終了



昭和60学年度の入学式 昭和60年（1985）4月9日 （学校アルバム）

- 11・4 秋の遠足(小一～四年と中学校全学年)
- 11・13 小学校修学旅行(小五・六年生)
- 11・12 城間久代優勝、村代表となる。
- 11・12 村内童話、お話、意見発表会、小四新垣史、中一受賞(中三年生十一名合作東村の地層の研究)
- 11・10 第二九回、日本学生科学賞沖繩地方審査で優秀賞
- 10・15 小学校特別教室調理場改築工事着工。
- 10・12 沖繩タイムスコンクール図画の部、優良賞受賞、(小二仲嶺あかり、小六松田兆光、久高江美子、中一崎山美奈子)
- 10・12 秋季運動会。
- 9・2 第二期始業式。
- 8・6 緑の少年団野外研修(父兄同伴、本校七期生)
- 8・5 卒業生テント一張寄贈(第三四・三五・三六・三七期生)
- 7・30 県サッカークロケット祭へ出場・ベスト四の成績収める。
- 7・23 野外キャンプ(小四以上漢那ビーチ、二泊三日)
- 7・20 第一期終業式。
- 7・13 校内防災避難訓練。
- 6・20 県主催東村植樹祭で村民の森で植樹(小四以上参加)。
- 5・28 緑の少年団結団式。
- 5・2 スポーツテスト実施(小五以上中三年まで)
- 5・2 春の遠足(小学校ウツパマ、中学校海洋博公園)



有銘小5、6年生で「緑の少年団」が結成された。昭和60年(1985)5月31日 (学校アルバム)

12・4 インフルエンザ流行（中一学級閉鎖、四、五日の  
二日間）

12・8 学習発表会。

12・16 運動場への架橋完成、渡り初めの式を挙行。

12・25 第二学期終業式。

1・6 第三学期始業式。

1・26 中央読書感想文、画コンクール、感想画の部で優  
秀賞、（小六松田兆光君、久高江美子さん、仲松  
麗奈さん）

2・14

2・14 第八回県青少年科学作品展で県知事賞受賞（中三  
年十一名合作、東村の地形地層の研究）

右・同作品で沖縄電力社長賞受賞。  
（中学理科クラブ五人の合作、シイタケの研究）

右・同作品展で学校奨励賞受賞。

2・28 小学校特別教室調理場改築工事竣工。

3・21 修了式、卒業式挙行。

3・31 離任式。

## 昭和61年

（一九八六）

在籍 小学校 六八人（男三七人、女三一人）

中学校三一人（男一三人、女一八人）

4・1

新任式・始業式。

4・7 小・中入学式。

4・8 幼稚園入園式。

4・9

幼稚園入園式。



運動場への架橋が完成。渡り初め式が行われる。 昭和60年（1985）12月16日（学校アルバム）

- 4・25 調理場側通用門竣工（田場組）
- 5・30 P T A 総会 新会長 渡口康秀  
副会長 島袋徳和・花城栄子
- 7・19 第一学期終業式。
- 7・23 野外キャンプ・小学校四年以上中学校全員（漢那ビーチ）
- 9・1 第二学期始業式。
- 10・13 沖縄タイムス作品コンクール優秀賞  
（習字小二、古堅美鈴、図画小一宮城建鶴）
- 12・23 中二、三年修学旅行（九州四県、四泊五日）  
運動会
- 11・30 運動場整地、屋外便所完成（久幸組）
- 12・13 中二、仲松えりさ、県意見発表に辺土名地区代表  
で出場。優良賞。
- 12・25 第二学期終業式。
- 1・6 第三学期始業式、校内書初大会。
- 2・1 学習発表会。
- 2・20 第九回県青少年科学作品展、知事賞受賞、中学・  
理科クラブ員の合同研究（河川の水質検査と有銘  
川の降水量と赤土流出量についての研究）
- 3・18 幼稚園卒園式。
- 3・20 小・中学校卒業式。
- 3・23 小・中学校修了式。
- 3・31 離任式・P T A 主催送別会有銘公民館。



小4以上が参加して漢那ビーチで「野外キャンプ」昭和60年（1985）7月23日（学校アルバム）

昭和62年

(一九八七)

在籍 小学校 五七人(男三一人、女二六人)

中学校 三三人(男一五人、女一八人)

4・1

新任式、始業式。

4・7

入学式。

4・8

幼稚園入園式。

4・9

学校用車贈呈式

6・20

東開発代表者仲泊弘次氏より、日産チェリー(九人乗り) 沖五七―た―一四八八

7・20

第一学期終業式。

8・24

校門西側ブロック壁工事了完了(歩道拡張に伴う取り壊し、再設置、田場組)

9・1

第二学期始業式。

9・27

運動会。

10・21

海邦国体炬火宿泊歓迎会(中学校吹奏部アトラクションに出場、村営グラウンド)

10・22

海邦国体炬火リレー(小五・六年・中一・二・三年全員がリレーに参加)

10・29

小学校五・六年修学旅行(日帰り、沖縄南部)

11・11

村内童話・お話・意見発表会(小学校奥間朝樹・田場純子、中学校江川実村代表となる)

12・6

学習発表会(展示、舞台発表を行う)

12・12

県童話お話大会に小学校低学年田場純子、辺土名地区代表として出場、優良賞受賞。



中学校吹奏楽部が海邦国体炬火宿泊歓迎会に出場 昭和62年(1987)10月21日(撮影:山城定雄)

- |      |       |  |
|------|-------|--|
| 9・1  | 9月1日  | 第二学期始業式。   |
| 8・8  | 8月8日  | 県中体連夏季大会で田場兼博、棒高跳で優勝。                                |
| 7・30 | 7月30日 | 九州大会に出場四位（二位と同記録、三米三〇）                               |
| 7・20 | 7月20日 | 第一学期終業式。   |
| 7・30 | 7月30日 | 県サッカー祭有銘チーム準々決勝まで進出。                                 |
| 7・18 | 7月18日 | 家庭教育学級・教育講演会、喜屋武清昭氏（国頭地区学習対策委員長）有銘区集会所<br>演題「家庭教育雑感」 |
| 6・10 | 6月10日 | 学校敷地東側道路添ブロック壁完成（兼善組）                                |
| 4・14 | 4月14日 | P T A主催新人職員歓迎会、有銘集会所。                                |
| 4・9  | 4月9日  | 入園式。   |
| 4・8  | 4月8日  | 入学式。   |
| 4・7  | 4月7日  | 新任式、始業式。   |
| 4・1  | 4月1日  | 在籍 小学校 五三人（男二八人、女二五人）<br>中学校 三八人（男二三人、女二五人）          |

昭和63年  
（一九八八）

- |       |        |                       |
|-------|--------|-----------------------|
| 12・25 | 12月25日 | 第二学期終業式。              |
| 1・6   | 1月6日   | 第三学期始業式・校内書き初め大会。     |
| 3・10  | 3月10日  | 東村学習対策実践報告会で研究実践の発表。  |
| 3・18  | 3月18日  | 幼稚園卒園式。               |
| 3・20  | 3月20日  | 小・中卒業式。               |
| 3・23  | 3月23日  | 小・中修了式。               |
| 3・31  | 3月31日  | 離任式、P T A主催送別会、有銘集会所。 |



海邦国体炬火リレーに小5～中3全員が参加。昭和62年（1987）10月22日（撮影：山城定雄）

9・12 田場組代表者田場兼仁氏より走り高跳用ティフエ  
ンスマット寄贈。また、アサヒ写真ニュース掲示  
板並びに同紙一ケ年分も寄贈。

10・17 ダム湖名称応募入選。小六比嘉辰雄、仲村武蔵、  
島袋祐也、知念正人・中二瀬上美由紀

「新川湖」と命名される。

12・10 県童話お話大会辺土名地区代表として本校小三・  
宮城建鶴、六年島袋祐也出場、優良賞受賞。

12・12 子ども守り励ます会から本校三年松田兆功、善行  
表彰される。

12・24 第二学期終業式。  
1・6 第三学期始業式。

1・7 昭和天皇御崩御に対し、始業前に全職員児童生徒  
黙祷を行う。

1・8 元号を平成へいせいに改められる。  
2・5 学習発表会（展示、舞台発表、父母も展示発表に  
協力）

2・24 大喪の礼（休日となる）

3・23 小中卒業式。  
3・24 小中修了式。

平成元年

(一九八九)

在籍 小学校四六人（男二一人、女二五人）

中学校三九人（男二七人、女一二）

4・1



慶佐次ウッパマにて水泳教室 昭和63年（1988）7月（学校アルバム）

- 4・7 新任新任式、始業式。
- 4・8 小中入学式。
- 4・10 幼稚園入園式。
- 4・19 交通安全指導（名護署より指導員）
- 5・29 PTA総会、PTA主催による歓迎会（有銘区）。
- 6・15 父親授業参観、PTA親子作業。
- 7・1 水泳教室、ウップアマ海岸。
- 7・20 第一学期終業式。
- 8・8 中学校選手権九州大会（福岡）田場兼博棒高跳3メートル60センチ、準優勝。
- 9・1 二学期始業式
- 9・10 聖火宿泊記念久志駅伝大会、中学男子出場。
- 10・1 秋季大運動会。
- 11・12 県中体連陸上競技大会、田場兼博、棒高跳優勝（3メートル90センチ）
- 12・2 県童話・お話大会高学年の部辺土名地区代表として出場。宮城晶子（六年生）
- 12・8 学習発表会。
- 12・25 二学期終業式。
- 1・6 三学期始業式、校内書き初め大会。
- 3・23 小中卒業式。
- 3・24 修了式。
- 3・31 離任式、PTA主催送別会（有銘区集会所）



平成2年度入学式 平成2年（1990）4月7日（撮影：山城定雄）

平成二年

(一九九〇)

在籍 小学校四九人(男二三人、女二六人)

中学校二九人(男二二人、女 八人)

- 4・1 新任式、始業式、入学式。
- 4・7 幼稚園入園式。
- 4・10 交通安全指導(名護警察署より来校指導)
- 4・20 春の遠足、小学校アルメランド。中学校海洋博
- 5・2 PTA総会、会長 又吉 晃。
- 5・31 父親授業参観、親子作業、飼育小屋づくり。
- 6・14 国頭地区中体連総合体育大会、男子サッカー、女子卓球、ベスト4。
- 6・17 一学期終業式。
- 7・20 二学期始業式。
- 9・1 台風のため休校。
- 9・18 台風のため休校。
- 9・27 台風のため休校。
- 10・5、6 台風のため休校。
- 10・14 秋季運動会。
- 10・18 有銘小学校百周年記念事業期成会結成のための準備委員会発足。
- 11・12 天皇陛下ご即位(公休)。
- 11・28 中学二年、三年生修学旅行(北九州)四泊五日。
- 12・4 環境教育モデル校(水生生物等水質調査に関すること)指定平成五年三月三十一日まで(県知事)。
- 12・28 二学期終業式(台風のため五日間臨時休業)。



校内童話・お話大会 平成2年(1990)10月30日 (撮影:山城定雄)



- |       |                                      |
|-------|--------------------------------------|
| 9・28  | 運動場へ通じる鉄橋の修理（ペンキ塗装）                  |
| 9・29  | 秋季運動会。                               |
| 10・9  | 仲村拓蔵、棒高跳少年Bで石川国体へ出場。記録4メートル。         |
| 10・12 | 電話架設（調理場・幼稚園）                        |
| 11・10 | 県中体連陸上競技大会、仲村拓蔵、棒高跳4メートル30センチ、新記録樹立。 |
| 12・8  | 学習、展示発表会。                            |
| 12・25 | 二学期終業式。                              |
| 1・6   | 三学期始業式。                              |
| 1・18  | 小学校持久走、中学校駅伝大会。                      |
| 1・23  | 体育館入口土間、周辺整備、屋外トイレ竣工（村教委）            |
| 1・25  | 車庫完成（PTA 90万円）。                      |
| 3・10  | 第三六回沖P大会、特別分科（週五日制について）              |
| 3・23  | 環境教育モデル、水中生物調査。                      |
| 3・24  | 卒業式。                                 |
| 3・31  | 修了式。                                 |
|       | 離任式・PTA主催送別会（有銘区集会所）                 |
- 平成四年  
（一九九二）
- 在籍 小学校五四人（男三〇人、女二四人）  
中学校二五人（男一一人、女一四人）
- 4・7 新任式、始業式、入学式。



PTA主催新任教諭歓迎会 平成4年（1992）（撮影：山城定雄）

- 4・9 幼稚園入園式。
- 5・1 春の遠足、幼…つつじ園、小…有銘ランド、中…  
いこいの村。
- 5・18 勤労生産学習研究推進校連絡協議会  
(文部省、渡久地勉研究主任参加)。
- 5・26 交通安全指導(名護警察署)。
- 6・4 PTA総会、役員改選、会長 島袋徳和  
授業参観、PTA親子作業、給食調理場チリ置場  
完成。
- 6・22 国頭地区夏季総体、卓球女子(有銘中)準優勝。  
有銘小学校創立百周年記念事業期成会総会。
- 7・15 職員室トイレ、シャワー室に改修。
- 7・20 一学期終業式。
- 8・2 小学校ハンドボール県大会。女子Bで準優勝。
- 8・9 九州地区中学校陸上競技大会、田場兼昇、棒高跳  
に出場。
- 8・17 農場(具志堅区長所有地)への架橋設置。
- 9・1 二学期始業式。
- 9・27 第四五回秋季大運動会。
- 10・14 鯉の放流大会(有銘川)二〇〇尾。
- 10・30 堆肥場及びリサイクル場基礎工事(PTA環境整  
備部)。
- 11・7 県中学校陸上競技大会(八重山)田場兼昇。  
棒高跳優勝(記録4メートル0センチ)



「大きくなってかえっておいで」とコイを放流 平成4年(1992)10月14日 (撮影:山城定雄)

11・25	中学二年、三年生修学旅行四泊五日。
11・27	秋の遠足（幼：自然動植物楽園、小：海洋博記念公園、中：アイランドパーク）
12・14	文部省・東村教委指定勤労生産学習一年次研究発表会。
12・25	二学期終業式。
1・6	三学期始業式。
1・31	学習発表会（含む：作品展）。
2・23	県保健部指定、環境教育モデル校校内発表会。
2・28	堆肥つくり場屋根トタン（東生コン提供）葺き（PTA役員、全員）。
3・8	勤労生産学習「収穫祭」（全校児童生徒・職員参加）
3・23	第四五回小中卒業式。
3・24	修了式。
3・31	離任式。
平成5年	
(一九九三)	在籍 小学校六五人（男三七人、女二八人） 中学校二六人（男一人、女二五人）
4・1	
4・7	新任式、始業式、入学式
4・8	幼稚園入園式。
4・28	春の遠足（幼：つつじ園、小：アルメランド、中：アイランドパーク）



勤労生産学習1年次研究発表会 平成4年(1992)12月14日 (撮影：山城定雄)

- 5・19 空缶つぶし機電源施設完了（教委）
- 5・23 県中学校陸上競技選手権大会、島袋要棒高跳優勝  
（記録3メートル60センチ）
- 5・24 交通安全指導（小二〜中三）名護署より三巡査来校指導。
- 5・25 PTA総会・空缶つぶし機始動式。
- 6・3 授業参観、PTA作業、親子レク（グラウンドゴルフ）
- 6・6 県小学校ハンドボール大会Bパート男女各優勝。
- 6・23 校舎放送施設取り替、農具小屋側門扉完成。
- 7・6 鯉の放流（有銘川）百尾。小学校一、二年生（生活科）稚魚寄贈、田場兼善氏。
- 7・11 通信陸上競技大会（糸満西崎）島袋要棒高跳優勝  
（記録3メートル60センチ）
- 7・19 幼稚園終業式。
- 7・20 一学期終業式。
- 7・23 百周年期成会、中部・北部郷友会（20名参加）
- 8・6 期成会郷友会（中部・南部）浦添城間ビザハウス  
（32名参加）
- 8・10 九州地区中学校陸上競技大会（宮崎）
- 8・18 島袋要、県代表として出場。
- 8・28 裏門側へいフェンス完成。
- ジュニア陸上競技大会、島袋要、棒高二位（3メートル60センチ）宮城建鶴百米障害一位（17秒5）



県小学生ハンドボール大会でBパート男女アベック優勝 平成5年（1993）6月6日（撮影：山城定）

- 同二位仲村武（18秒2）
- 9・3 二期期始業式。
- 9・14 P T A 作業、電照小屋完成。
- 9・19 秋季運動会。
- 10・5 村並びに村教委へ百周年記念事業公費補助要請（期成会役員）、P T A 役員立看板づくり（挨拶）。
- 10・19 県学対学校計画訪問、金城弘一氏（県）、謝花氏、稲氏（国・教）、伊佐氏、宮城氏、山口氏（村教委）。
- 10・26 図書館クーラ装置・内部改装完了。
- 10・31 県中学校陸上競技大会（糸満） 島袋要、棒高跳、一位（3メートル90センチ）。
- 11・2 村童話・お話意見発表会（本校） 最優秀賞。小六兼城賢多、中三山城美奈子
- 11・11 コンピューター設置完了 八台。
- 11・23 小学校校舎屋上貯水タンク新品取付完了。
- 12・4 P T A 文化講演会並びにP T A 忘年会（有銘集会所）。
- 12・17 県教育委員本校訪問（安谷屋、翁長、玉城（所長）各氏）。
- 12・25 二期期終業式。
- 1・6 三期期始業式・校内書き初め大会（体育館）。
- 1・7 小学校二年教室床面・張り替え完成。
- 1・28 文部省、東村教委指定、勤労生産学習二年次研究



県立西原高等学校吹奏楽部を迎えての演奏会 平成6年（1994）3月6日（撮影：山城定雄）

5・28	学事奨励会、有銘区、慶佐次区、各字担任、参加。
5・27	PTA総会。会長 平田嗣雄 副会長 具志堅勇・古堅玲子
5・22	県中学校陸上選手権大会、棒高跳一位、宮城建鶴。
5・17	標準学力検査(小二・三・四・六、中一・三)
5・11	家庭訪問(十三日)
5・2	春の遠足。小：アルメランド、中：アイランドパーク、具志堅パン工場
4・27	百周年期成会役員会並びに各正副部長会、図書館。
4・8	幼稚園入園式(男5名、女4名計9名)
4・7	新任式、始業式、入学式。小(男5名、女2名計7名、中男8名、女2名計10名)
4・4	職員会、校務分掌決定。
4・1	(一九九四)
平成6年	在籍 小学校六五人(男三六人、女二九人) 中学校二七人(男一六人、女十一人)
3・31	離任式。
3・24	修了式。PTA主催学校職員送別会。
3・22	卒業式。
3・19	幼稚園修了式。
3・8	収穫祭(従割班、全校・児童生徒及び職員)
	分科会場。
	発表会。第二六回県へき地教育研究大会。学校別



農家のサトウキビ刈取りを行う。平成6年(1994)2月12日 (撮影：山城定雄)

- 6・2 授業参観、PTA親子作業、親子レク(グラウンドゴルフ)
- 6・9 交通安全指導(幼・一・二年、小三)中三自転車の正しい乗り方) 名護署員来校指導(親川、久世、小浜各氏)。
- 6・10 P.T.S親睦バスケットボール、幼稚園交流学习(東幼稚園)。
- 6・25 小学水泳教室 慶次ウツパマ、午後懇親会。
- 6・30 村教委学校計画訪問(施設視察、授業参観、懇談会)。
- 7・9 通信陸上競技大会、棒高跳優勝宮城建鶴(記録三米六〇センチ)
- 7・12 学校保健委員会(第一回)三師会、両区長、PTA会長、他。本校関係職員参加。
- 7・16 幼稚園、ガス配管工事完了。
- 7・20 一学期終業式。
- 7・23 県中学夏季総体、棒高跳優勝。宮城建鶴、記録(三米七〇センチ)。
- 7・29 野外炒飯活動、四年)中三、瀬嵩海岸、PTA協力。
- 8・4 小学ハンドボール大会(浦添)女子Bパート優勝。
- 8・5 百周年期成会役員並びに正副部長会(図書館)。
- 8・11 有銘小学校創立百周年記念事業起工式(安全祈願二十三名参加(仲嶺造園)。



小学校5～6年の複式授業の様子 平成6年(1994)9月26日 (撮影：山城定雄)

- 8・31 職員室側廊下のタイル張り替え工事完了。佐次田幸栄氏（石川市立歴史民俗資料館協議会委員）本校歴代校長の写真資料の提供。
- 9・1 二期期始業式。
- 9・6 授業参観、夏季作品展。陸上練習結団式。
- 9・17 PTA作業（運動場・その周囲の草刈り。83名参加）
- 9・22 港川氏マンゴー苗木五本寄贈。
- 9・24 国頭地区英語スピーチコンテスト優秀賞。渡口有紀、県大会へ出場し、健闘した。
- 9・25 第四七回秋季大運動会。
- 10・4 百周年期成会役員並びに正副部長会。18名参加。
- 10・13 県学対計画訪問、義務教育課・花城氏、国頭教育事務所・喜瀬、玉城氏、村教委・伊佐、宮城、大城主事来校。
- 10・26 村内童話・お話意見発表会、最優秀。  
童話（兼城武小三）お話（山城梓小五）  
意見（兼城賢多中一、崎山真理子中三）。
- 10・30 第三六回県中学校陸上競技大会、棒高跳一位。  
宮城建鶴、記録三米八〇センチ
- 11・8 避難訓練（ビデオ視聴、学級活動、避難実施）。
- 11・16 アイディア貯金箱郵便局長賞、宮城祐二（小二）、百周年記念事業仲嶺造園と工事契約（図書館）。
- 11・24 中学修学旅行、全学年参加、四泊五日、九州一円。



水泳教室（慶佐次ウッパマ） 平成6年（1994）6月25日（撮影：山城定雄）

- 11・25 秋の遠足、小学校全、海洋博記念公園。
- 12・1 小六達成度テスト(国・算)結果処理作業。
- 12・9 PTA文化講演会(島袋正敏氏)PTA忘年会。
- 12・24 二期最終業式、校歌・沿革碑設置(仲嶺造園)。
- 1・7 幼稚園始業式、運動場植栽(仲嶺造園)
- 1・10 中学二年達成度テスト(国・英・数)結果処理作業。
- 1・19 校門正門完成(玉建設)、校旗発注。
- 1・20 東村学力向上対策教育実践報告会。
- 1・28 東開発(生コン)仲村清氏中庭整理、重機、パラス提供。
- 1・29 学習発表会。
- 2・6 百周年記念式典実行委員会、図書室。
- 2・7 新報書き初め展金賞受賞、知念卓正(小四)、仲嶺奈月(小六)、宮里亜沙子(中一)。
- 2・8 村学対事業「児童交流の翼」六年全児童参加。  
四泊五日、山形県八幡町。引率・知念繁治教諭。  
県教育版画コンクール、特選受賞、仲村拓也(小一)
- 2・24 学校保健委員会(第二回)
- 2・28 小学新一年生保護者会。
- 3・8 中学PTA臨時総会(頭髪の件)
- 3・22 百周年委員会総会。六時三〇分、ホール81名参加。  
第四七回卒業式、小(男二名、女三名計五名)中



国頭地区小学校音楽発表会に5、6年生が出演 平成6年(1994)12月1日 (撮影:山城定雄)

- 3・24 (男三名、女五名計八) 修了式。
- 3・25 P T A主催、学校職員送別会。有銘集会所。離任式。
- 3・30

平成7年

(一九九五)

在籍 小学校十人(男六人、女四人)

中学校四人(男一人、女三人)

- 4・4 職員会 校務分掌決定 校内研修
- 4・7 新入式・始業式・入学式
- 4・8 幼稚園入園式(男五名、女二名、計七名)
- 4・13 図書館屋上への出入り防止柵取付(村教委職員)
- 4・15 P T A主催 新任職員歓迎会 午後六時～有銘公民館
- 4・16 海邦国体記念記録会、棒高跳一位、中三古堅周作君、記録三M四〇cm
- 4・28 P T A総会、午後六時、部育成会 午後七時
- 5・2 春の遠足 小：アルメランド、中：海洋博記念公園
- 5・11 百周年式典部会 午後七時 家庭訪問
- 5・15 百周年各部会(祝賀、表彰、接待案内、庶務会計) 七時～
- 5・19 百周年期成会部長・副部長会 午後六時半～
- 5・22 百周年祝賀部会六時半～総務部会六時半～
- 5・29 百周年記念航空写真撮影 午前十時半～



ハンドボールお別れ会。兼城賢悟先生3年間お世話になりました 平成7年(1995)3月18日(撮影：山城定雄)

- 5・31 百周年式典部会六時、総務部会七時
- 6・2 百周年運営委員会 七時 図書館
- 6・5 百周年各部会 各部長・副部長会
- 6・7 百周年接待部会 七時 図書館
- 6・9 プール完成、プール開き(吉祥寺住職御払、国頭消防本部職員の協力)
- 6・22 親子作業(四校時) PTA作業(午前九時〜午後四時半)
- 6・26 百周年期成会役員部長会 六時半
- 6・27 タイム・カプセル埋設式 午後三時
- 6・29 百周年正副部長会(七時 図書館)
- 6・30 PTA作業(二時〜)慶佐次区作業(二時〜)
- 7・1 百周年記念式典準備 PTA作業(午前九時〜昼食準備) 六六名
- 7・2 有銘小学校創立百周年(祝賀パレード、除幕式、国民学校卒業式、式典、祝賀会)
- 7・7 有銘小学校創立記念式典・祝賀の模様放映(琉球放送六時三〇分〜)
- 7・20 一学期終業式
- 7・24 県中学校総合体育大会、古堅周作君棒高跳一位  
三M八〇cm
- 7・27 野外炊飯九時二十分〜四時三〇分於ウツパマ(炊飯・水泳・レク)PTA役員、慶佐次区長の協力
- 8・9 九州中学校陸上競技大会、古堅周作君(中三)棒



創立百周年記念式典 平成7年(1995)7月2日 (撮影:山城定雄)

- 8・18 高跳一位 記録三M八〇cm  
県警察署並びに交通安全協会より交通安全優良校の表彰を受ける。
- 9・1 二期期始業
- 9・2 PTA作業 二時～四時半 参加者 父母三十名  
職員二十名
- 9・7 百周年期成会役員 部長・副部長会七時半
- 9・17 秋季大運動会 九時
- 10・7 国頭地区中学校陸上競技大会棒高跳・古堅周作君一位 有名中学校 中体連より優秀選手学校賞受賞
- 10・21 管理棟屋上貯水タンク（ステンレス製）取り替工事完了（友屋設備）
- 10・29 県中学陸上競技大会で有銘中学校、スポーツ優秀校の表彰を受ける。
- 11・1 県学対学校訪問、（県主事一人、事務所主事二人、村教委より教育長、課長、教員委員二人、主事二人、来校）
- 11・5 東村青年駅伝大会Aチーム優勝・区間賞五名（望、弘樹、一真、正人、元気）
- 11・21 小六、修学旅行（一泊二日）秋の遠足
- 12・2 PTA文化講演会六時 有銘公民館、講師・石川元平氏、忘年会八時
- 12・13 東村学対教育実践発表会（公開授業、報告会）本



平成7学年度卒業式 平成8年（1996）3月22日 （撮影：山城定雄）

- 12・25 校来校四六名
- 12・27 二期終業式
- 12・27 プール周辺黒木植樹（東村より）五十本
- 1・6 三学期始業、書き初め会（小中全員）
- 1・8 幼稚園始業式
- 1・9 中二達成度テスト（国、数、英）、中学校全職員集計処理
- 1・19 校内研修（研究授業）国頭教育事務所稲嶺律子主事、東村大城正和主事来校
- 1・24 授業参観（定例）保護者六五名参観、福地への道（県道十四号線横断歩道完了）
- 2・1 劇団たんぽぽ本校にて公演（村教委主催）（東校一五〇名、高江校一九名、有銘校九一名、保育所四一名 計三〇一名鑑賞）
- 2・3 校内マラソン大会（小）、校内駅伝大会（中）
- 2・8 「東村・児童交流の翼」六年生全員山形県八幡町へ出発（四泊五日）引率、担任仲地道江教諭、養論金城キミ子教諭
- 2・23 各教科備品監査（村より比嘉辰雄氏、宮城光枝さん、牧志昌弘氏、教委より宮城良輝氏、知念さん）
- 3・19 第四八回卒業式、小学校男六名、女四名 計一〇名 中学校男五名 女四名 計九名
- 3・22 修了式、PTA主催、学校職員等送別会六時三十分有銘区集会所
- 3・29 離任式



「棒高跳び王国」目指しクラブ結成 平成8年（1996）年1月1日（撮影：山城定雄）

歴代校長



第3代校長  
大山岩蔵



第2代校長  
宮城景秋



初代校長  
玉城定英



第6代校長  
玉城甚明



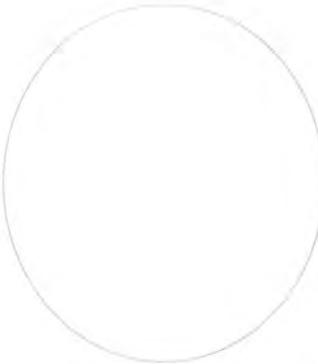
第5代校長  
祝嶺春榮



第4代校長  
高良利信



第9代校長  
宮良長正



第8代校長  
金城元次郎



第7代校長  
知名定昌



第12代校長  
富原 守貞



第11代校長  
友寄 英毅



第10代校長  
松根 盛秀



第15代校長  
宮城 盛吉



第14代校長  
新里 義雄



第13代校長  
島袋 朝穂



第18代校長  
古堅 宗徳



第17代校長  
宮城 政忠



第16代校長  
上原 亀吉



第21代校長  
渡久地 正保



第20代校長  
松田 福一郎



第19代校長  
宮城 功雄



第24代校長  
喜屋武 清昭



第23代校長  
比嘉 義男



第22代校長  
知名 定善



第27代校長  
金城 昂



第26代校長  
宮城 竹盛



第25代校長  
金城 昂



第30代校長  
比嘉清忠



第29代校長  
與那嶺傳旭



第28代校長  
比嘉祐好